
令和7年度
大分市在宅介護実態調査

報告書

令和8年3月
大分市



目 次

I 調査の概要	1
1 調査の方法	1
2 調査票の回収結果	1
3 集計結果の表し方	1
II 集計結果	3
1 本人の心身の状況	3
2 介護者の状況	9
3 サービスの利用状況	21
4 認知症についての意識	30
III 調査票	35



I 調査の概要



I 調査の概要

1 調査の方法

本調査は、高齢者等の適切な在宅生活の継続と、家族等介護者の就労継続の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的に、大分市において、在宅で要支援・要介護認定を受けている方を対象として実施し、「大分市高齢者福祉計画及び第10期大分市介護保険事業計画」の基礎資料とするものです。

調査手法	認定調査員による聞き取り調査
対象地域	大分市全域
調査期間	令和7年11月17日(月)～令和8年3月24日(火)
調査対象	期間内に要支援・要介護認定の更新・区分変更申請に伴う認定調査を行った、居宅にお住まいの被保険者とその介護者(介護保険施設入所中や入院中を除くが、有料老人ホーム・ケアハウス・サービス付き高齢者向け住宅入居者は含む)

2 調査票の回収結果

調査票の回収数	612件
---------	------

3 集計結果の表し方

- ・ 百分率による集計では、回答者数(限定設問においては該当者数)を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。複数回答の設問では、比率の合計が100%を超えることがあります。
- ・ 報告書中の「n=」は各項目の比率を計算する際の母数となるサンプル数(回答者数)を示します。
- ・ クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。
- ・ クロス集計(年齢階級別の集計など)の図については、分析軸の項目の後に(n=XX)として、各項目の回答者数を表記しています。
- ・ 設問タイトルに(いくつでも)と記載されている設問は、選択肢から任意の数を回答できる複数回答設問、それ以外は選択肢から1つを回答する単一回答設問です。

Ⅱ 集計結果



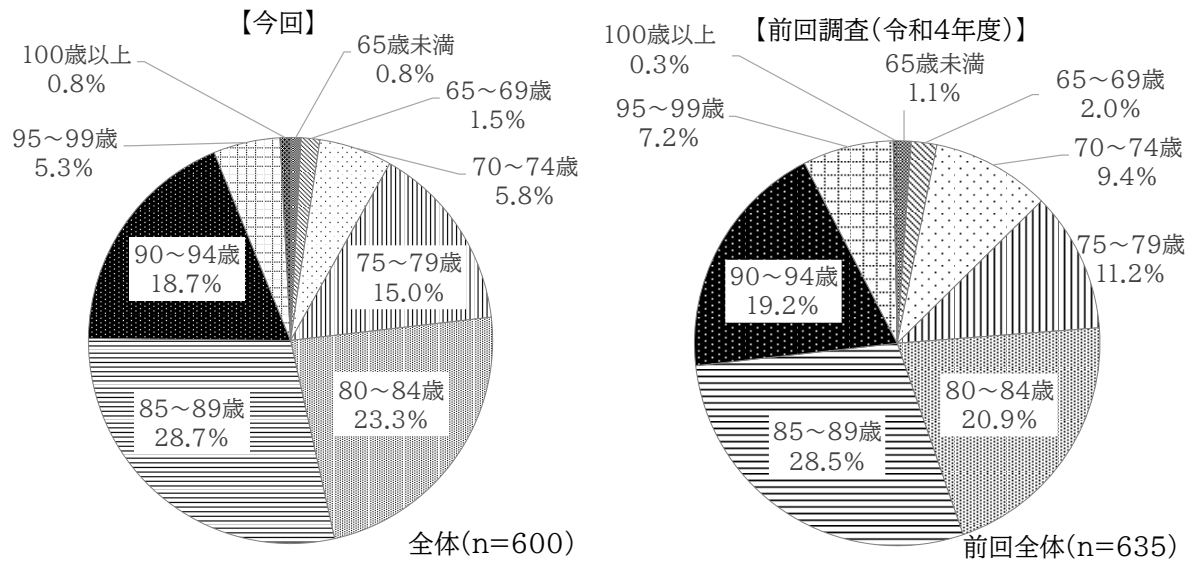
Ⅱ 集計結果

1 本人の心身の状況

年齢、性別、要介護度など、基本属性は、要介護認定データと突合した結果を掲載しています。

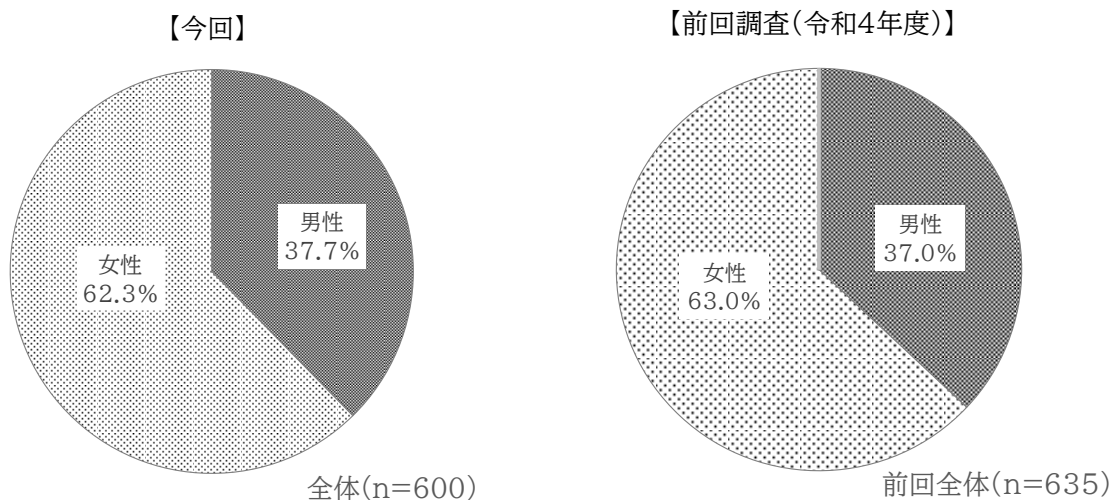
(1) 年齢

年齢は、「85～89歳」が28.7%と最も多く、次いで「80～84歳」が23.3%、「90～94歳」が18.7%、「75～79歳」が15.0%となっています。令和4年度に実施した前回調査と比べて、「70～74歳」の割合が低くなり、「75～79歳」が高くなっています。



(2) 性別

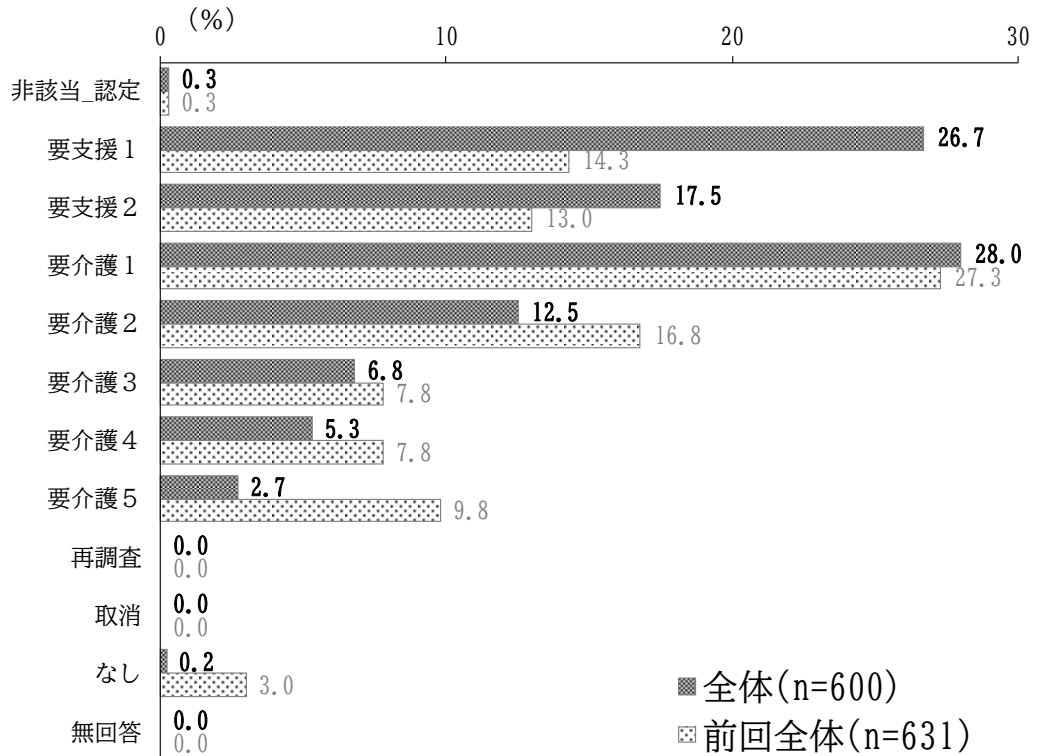
被保険者の性別は、「男性」が37.7%、「女性」が62.3%となっています。前回調査と比べて、男女比に差はありません。



(3) 要介護度

要介護度は、「要介護1」が28.0%と最も多く、次いで「要支援1」が26.7%、「要支援2」が17.5%などとなっています。

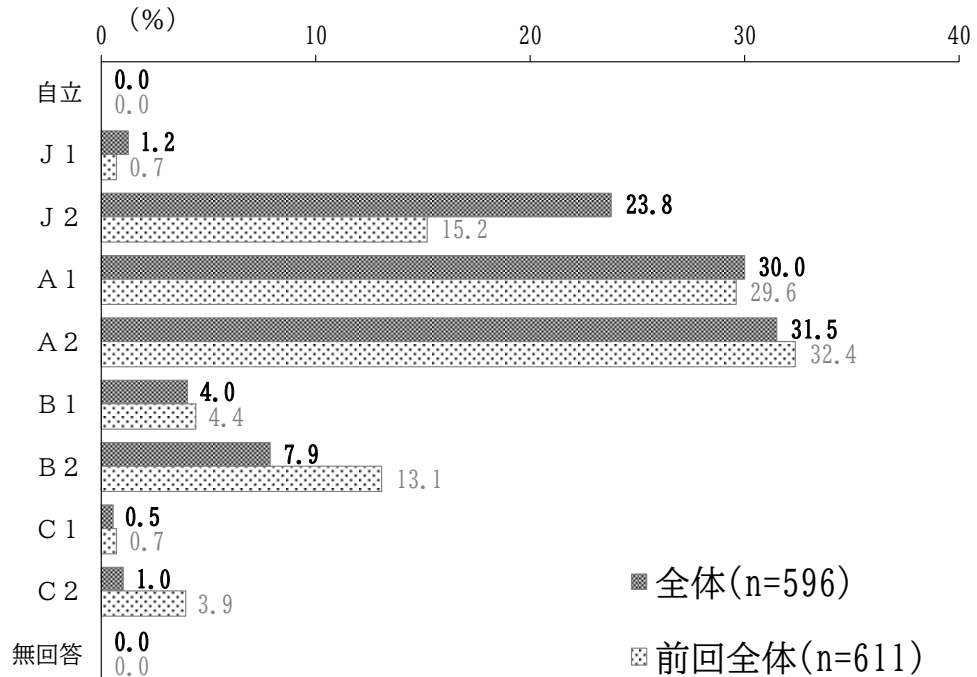
前回調査と比べて「要支援1」「要支援2」の割合が高く、「要介護2」「要介護5」が低くなっています。



(4) 障害高齢者の日常生活自立度

障害高齢者の日常生活自立度は、「A2」が31.5%と最も多く、次いで「A1」が30.0%、「J2」が23.8%などとなっています。

前回調査と比べて「J2」の割合が高く、「B2」の割合が低くなっています。



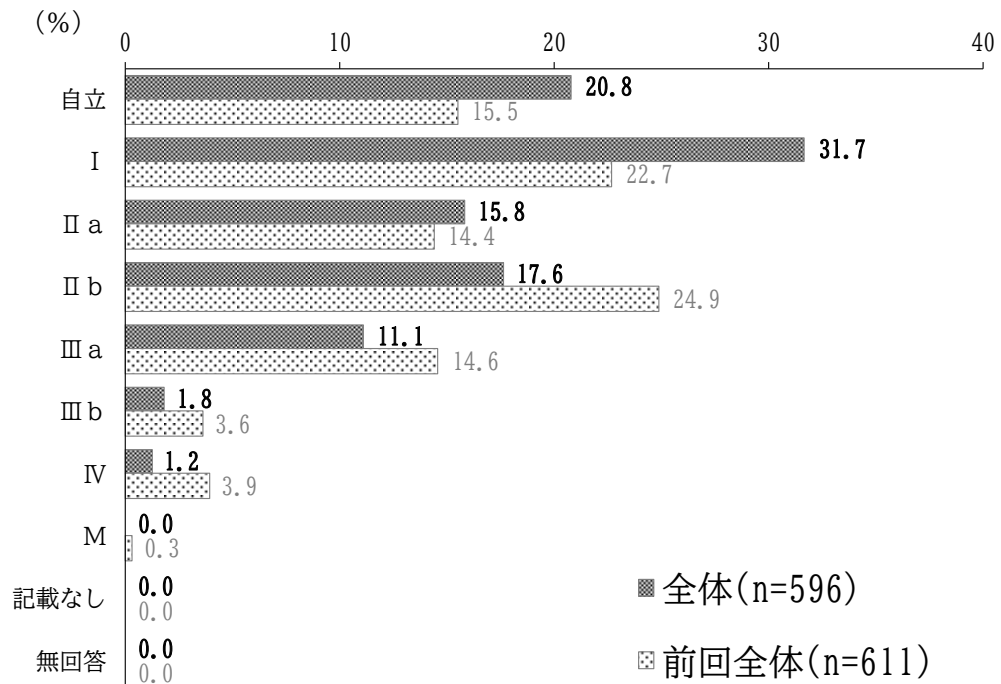
■障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

ランクJ	何らかの身体的障害等を有するが、日常生活はほぼ自立し、一人で外出する者
J1	バス、電車等の公共交通機関を利用して積極的に、遠くまで外出
J2	隣近所への買い物や老人会等への参加等、町内の距離程度の範囲に外出
ランクA	「準寝たきり」。屋内での日常生活活動のうち食事、排泄、着替に関しては概ね自分で行うが、近所への外出時には介助者の援助を必要とする
A1	日中時間帯もベッドから離れている時間が長く、介助者の介助のもと多く外出する
A2	日中時間帯ベッドから離れている時間の方が長い、介助者がいてもまれにしか外出しない
ランクB	「寝たきり」。日常生活活動のうち、食事、排泄、着替のいずれかにおいて部分的に介護者の援助を必要とし、1日の大半をベッドの上で過ごす
B1	介助なしに車いすに移乗。食事や排泄もベッドから離れて行う
B2	介助のもと車いすに移乗し、食事または排泄に関しても介護者の援助が必要
ランクC	「寝たきり」。日常生活活動の食事、排泄、着替のいずれにおいても介護者の援助を全面的に必要とし、1日中ベッドの上で過ごす
C1	ベッドの上で常時臥床しているが、自力で寝返りをうち体位を変える
C2	自力で寝返りを打つことができなく、ベッド上で常時臥床している

(5) 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度は、「Ⅰ」が31.7%と最も多く、次いで「自立」が20.8%、「Ⅱb」が17.6%となっています。

前回調査と比べて、「自立」「Ⅰ」の割合が高くなり、「Ⅱb」「Ⅲa」の割合が低くなっています。



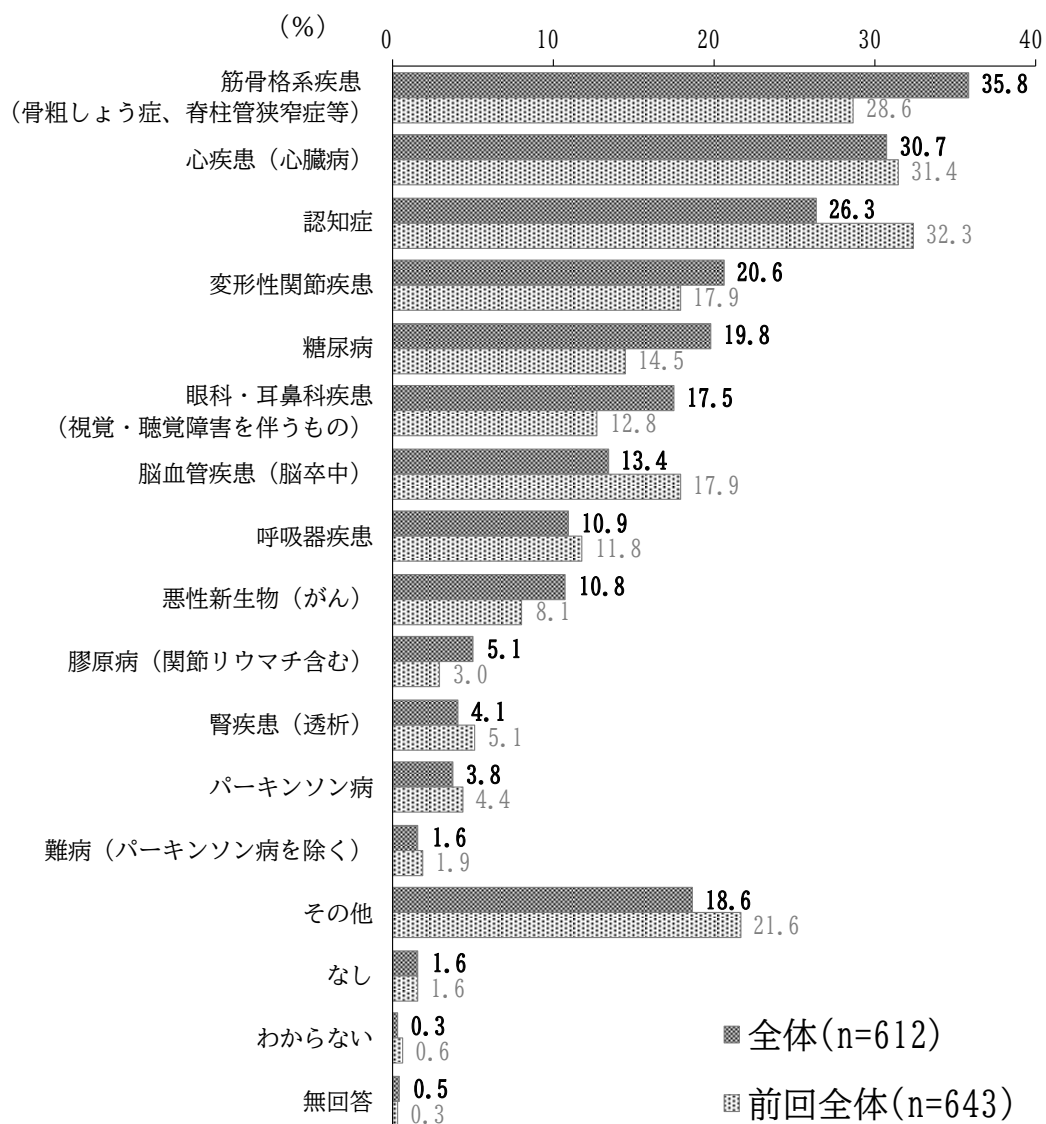
■ 認知症高齢者の日常生活自立度

Ⅰ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立
Ⅱ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる
Ⅱ a	家庭外でもⅡの症状がみられる。たびたび道に迷う、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
Ⅱ b	家庭外でもⅡの症状がみられる。服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
Ⅲ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする
Ⅲ a	日中を中心としてⅢの状態が見られる。日常生活活動が上手にできない、やたらに物を口に入れる、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる等
Ⅲ b	夜間を中心として上記Ⅲ aの状態が見られる。
Ⅳ	日y増に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
M	著しい精神症状・問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。せん妄、妄想、自傷他害等の問題行動が継続する状態

A票_問13 本人が抱えている傷病（いくつでも）

現在の傷病は、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が35.8%と最も多く、次いで「心疾患（心臓病）」が30.7%、「認知症」が26.3%となっています。

前回調査と比べて「筋骨格系疾患」「糖尿病」「眼科・耳鼻科系疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が高くなり、「認知症」「脳血管疾患（脳卒中）」が低くなっています。



※「全体」降順ソート

- 要介護度別にみると、「認知症」が重度層ほど割合が高いほかは、重度になるほど罹患率が高くなっていく傷病はなく、「筋骨格系疾患」など軽度層ほど割合が高い傷病もみられます。なお、本調査は、施設入所者は調査対象外であるため、全要介護者の罹患率分布とは異なります。

上段:人 下段:%	症、筋骨格系疾患(骨粗しょう症等)	心疾患(心臓病)	認知症	変形性関節疾患	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	脳血管疾患(脳卒中)	呼吸器疾患	悪性新生物(がん)	膠原病(関節リウマチ含む)	腎疾患(透析)	パーキンソン病	難病(パーキンソン病を除く)
	全体 (n=612)	219 35.8	188 30.7	161 26.3	126 20.6	121 19.8	107 17.5	82 13.4	67 10.9	66 10.8	31 5.1	25 4.1	23 3.8
前回全体 (n=643)	184 28.6	202 31.4	208 32.3	115 17.9	93 14.5	82 12.8	115 17.9	76 11.8	52 8.1	19 3.0	33 5.1	28 4.4	12 1.9
要支援1・2 (n=265)	113 42.6	92 34.7	25 9.4	61 23.0	53 20.0	48 18.1	30 11.3	31 11.7	29 10.9	19 7.2	11 4.2	7 2.6	5 1.9
要介護1・2 (n=243)	78 32.1	68 28.0	90 37.0	50 20.6	48 19.8	47 19.3	35 14.4	25 10.3	29 11.9	8 3.3	11 4.5	12 4.9	2 0.8
要介護3以上 (n=89)	24 27.0	24 27.0	41 46.1	13 14.6	16 18.0	7 7.9	17 19.1	10 11.2	6 6.7	4 4.5	1 1.1	4 4.5	3 3.4

上段:人 下段:%	その他	なし	わからない	無回答
	全体 (n=612)	114 18.6	10 1.6	2 0.3
前回全体 (n=643)	139 21.6	10 1.6	4 0.6	2 0.3
要支援1・2 (n=265)	48 18.1	3 1.1	1 0.4	3 1.1
要介護1・2 (n=243)	47 19.3	4 1.6	0 0.0	0 0.0
要介護3以上 (n=89)	17 19.1	3 3.4	0 0.0	0 0.0

※「全体」降順ソート

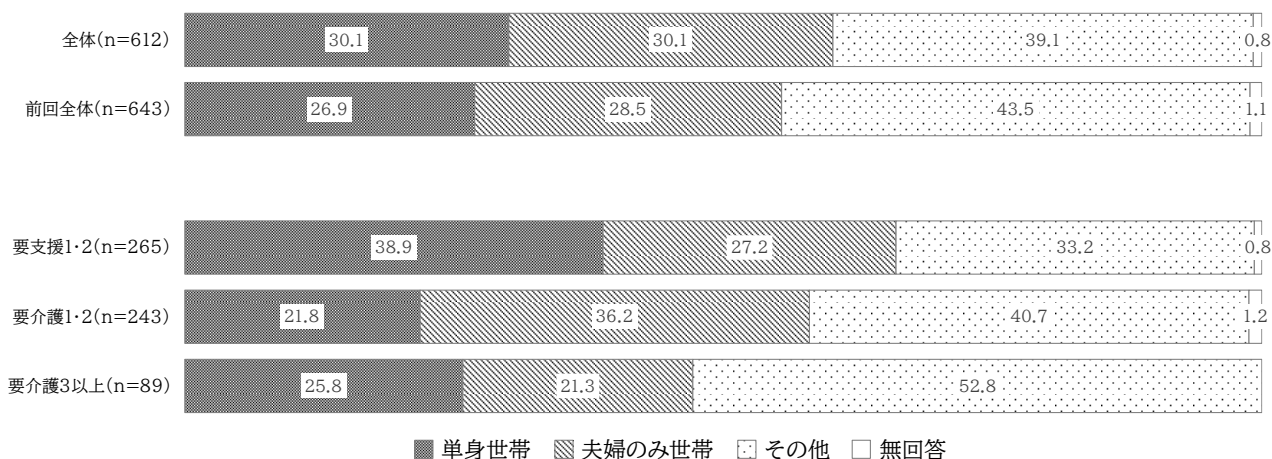
2 介護者の状況

A票_問1 世帯類型

世帯類型は、「その他」（三世帯同居など）が39.1%と最も多く、次いで「単身世帯」「夫婦のみ世帯」がともに30.1%となっています。

前回調査と比べて、「単身世帯」の割合が上がっています。

- ・ 要介護度別にみると、要支援1・2では「単身世帯」が4割近くとなっています。

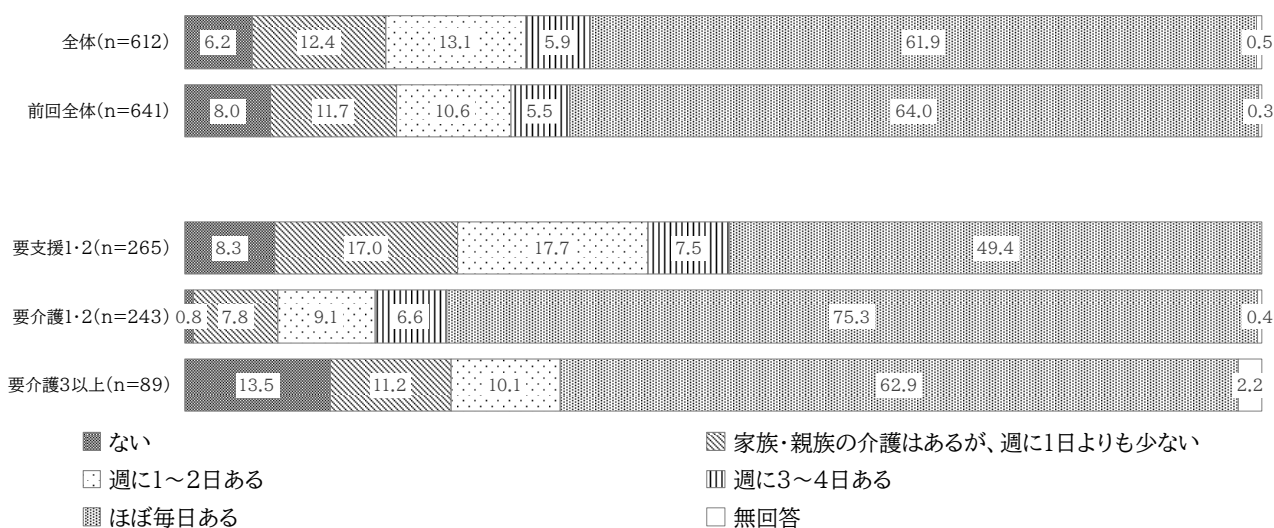


A票_問2 ご家族等による介護の頻度

家族による介護の頻度は、「ほぼ毎日ある」が61.9%と最も多く、次いで「週に1～2日ある」が13.1%、「週に1日よりも少ない」が12.4%となっています。

前回調査と比べて、同程度の傾向となっています。

- ・ 要介護度別にみると、要介護3以上の層でも、「ない」が13.5%、「週に1日よりも少ない」が11.2%あり、家族介護に頼れない状況がみられます。



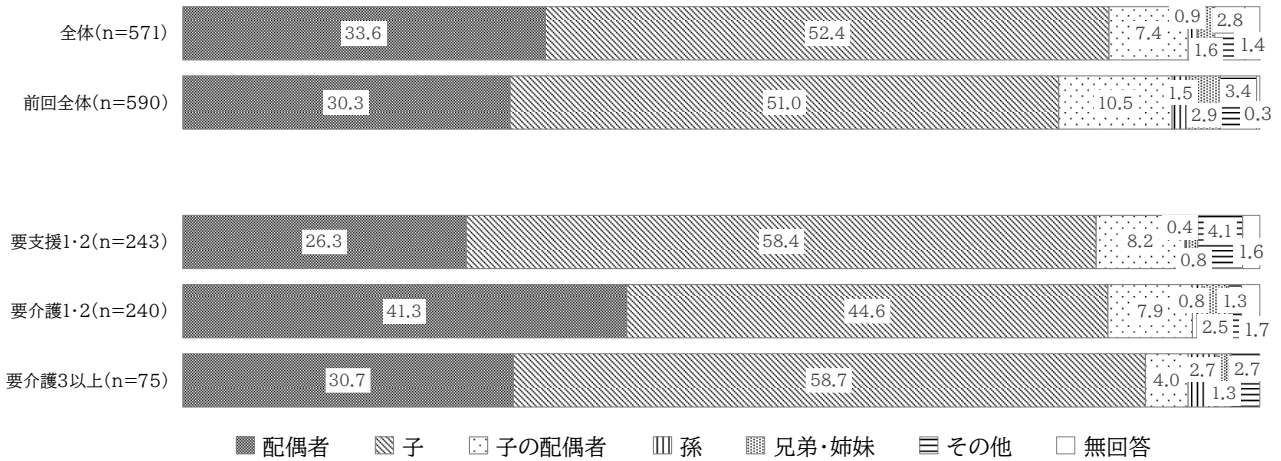
A票_問3 主な介護者の本人との関係

A票問2で「ない」(介護者がいない)以外を回答した方

主な介護者は、「子」が52.4%と最も多く、次いで「配偶者」が33.6%、「子の配偶者」が7.4%などとなっています。

前回調査と比べて、「子の配偶者」の割合が低く、「配偶者」の割合が高くなっています。

- ・ 要介護度別にみると、要介護1・2では「配偶者」(41.3%)が全体と比べて高くなっています。

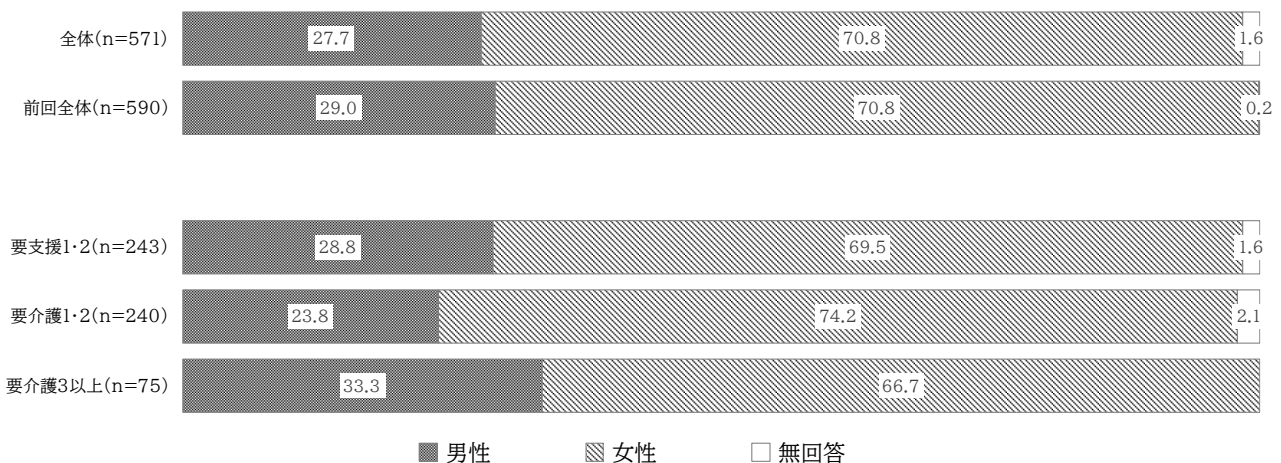


A票_問4 主な介護者の性別

A票問2で「ない」(介護者がいない)以外を回答した方

介護者の性別は、「男性」が27.7%、「女性」が70.8%となっています。

前回調査と比べて傾向に差はありません。



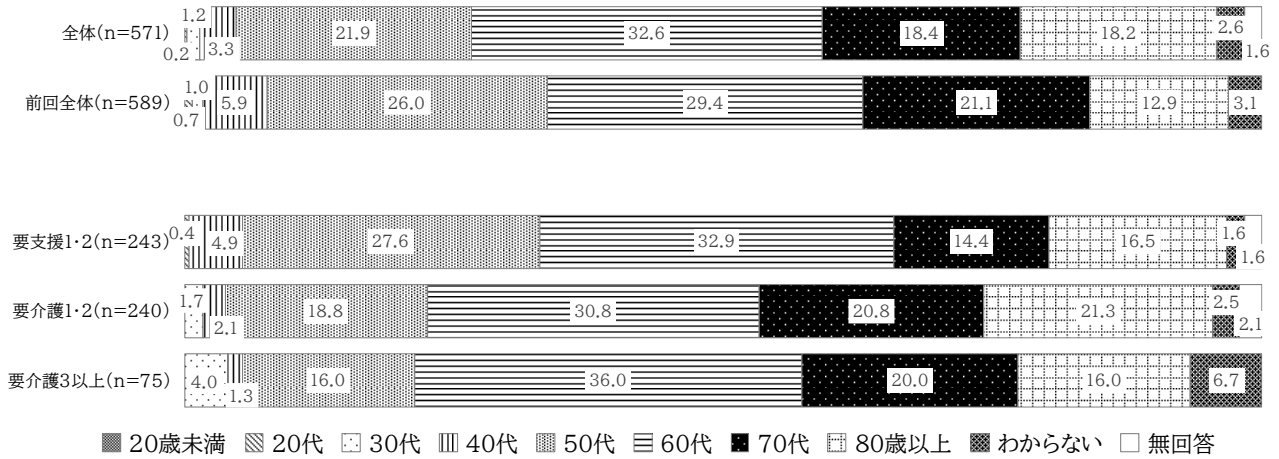
A票_問5 主な介護者の年齢

A票問2で「ない」(介護者がいない)以外を回答した方

介護者の年齢は、「60代」が32.6%と最も多く、次いで「50代」が21.9%、「70代」が18.4%などとなっています。

前回調査と比べて、「80歳以上」が5.3ポイント高くなっています。

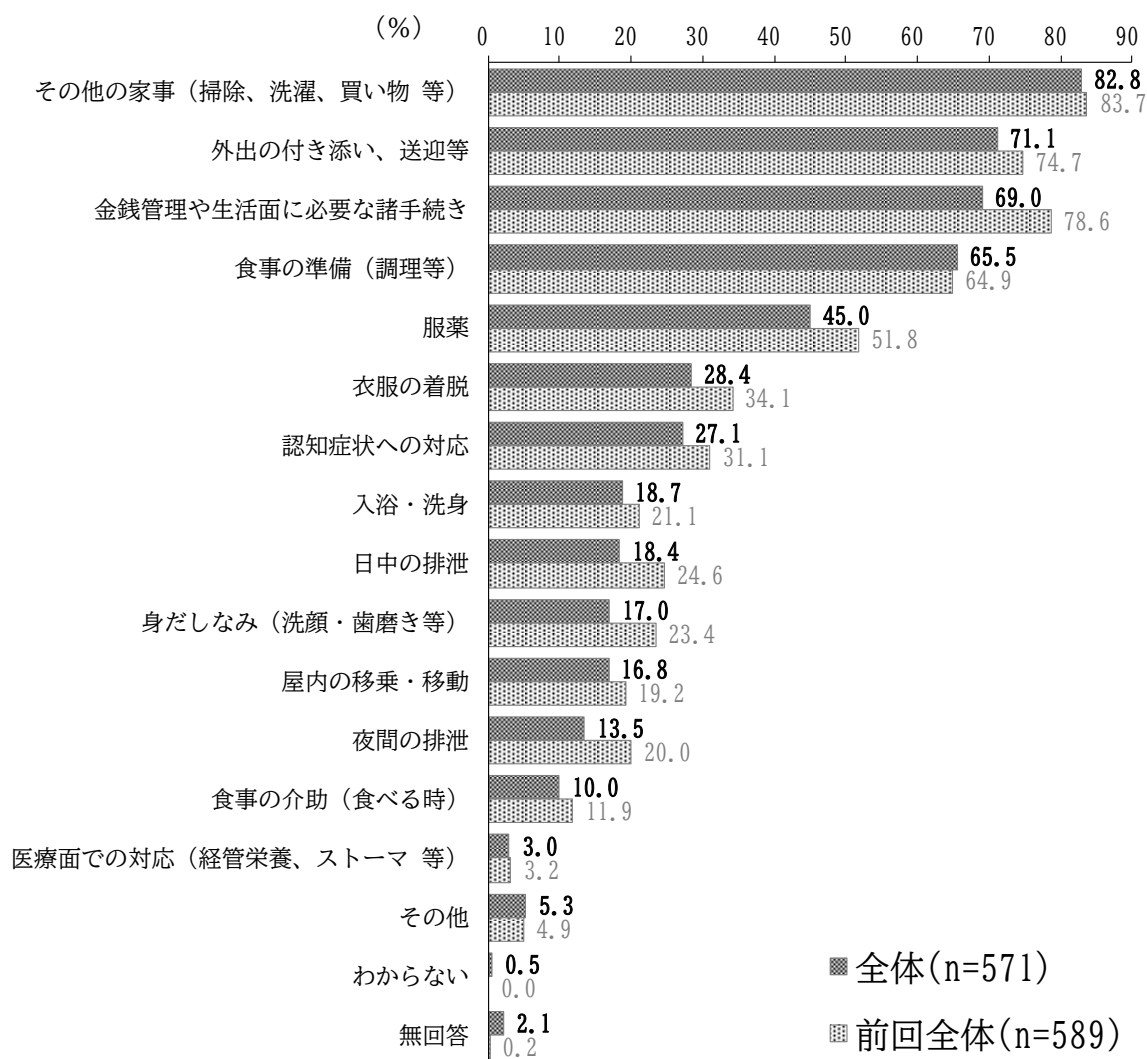
- ・ 要介護度別にみると、要支援1・2では「50代」など比較的若い介護者の割合が高くなっています。



A票_問6 主な介護者が行っている介護（いくつでも）

A票問2で「ない」（介護者がいない）以外を回答した方

主な介護者が行っている介護の内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が82.8%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が71.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が69.0%などとなっています。



※「全体」降順ソート

- 要介護度別にみると、要介護3以上では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(86.7%)を筆頭に、「入浴・洗身」(24.0%)、「食事の介助(食べる時)」(34.7%)、「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」(8.0%)を除く各項目が4割を超えています。

上段:人 下段:%	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	外出の付き添い、送迎等	諸金銭管理や生活面に必要な手続き	食事の準備(調理等)	服薬	衣服の着脱	認知症状への対応	入浴・洗身	日中の排泄	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	屋内の移乗・移動	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)
	全体 (n=571)	473 82.8	406 71.1	394 69.0	374 65.5	257 45.0	162 28.4	155 27.1	107 18.7	105 18.4	97 17.0	96 16.8	77 13.5
前回全体 (n=589)	493 83.7	440 74.7	463 78.6	382 64.9	305 51.8	201 34.1	183 31.1	124 21.1	145 24.6	138 23.4	113 19.2	118 20.0	70 11.9
要支援1・2 (n=243)	186 76.5	150 61.7	119 49.0	124 51.0	48 19.8	25 10.3	23 9.5	23 9.5	6 2.5	8 3.3	10 4.1	3 1.2	8 3.3
要介護1・2 (n=240)	214 89.2	191 79.6	201 83.8	189 78.8	157 65.4	93 38.8	95 39.6	64 26.7	55 22.9	46 19.2	47 19.6	37 15.4	21 8.8
要介護3以上 (n=75)	62 82.7	54 72.0	65 86.7	52 69.3	48 64.0	42 56.0	34 45.3	18 24.0	42 56.0	40 53.3	37 49.3	36 48.0	26 34.7

上段:人 下段:%	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	その他	わからない	無回答
	全体 (n=571)	17 3.0	30 5.3	3 0.5
前回全体 (n=589)	19 3.2	29 4.9	0 0.0	1 0.2
要支援1・2 (n=243)	5 2.1	18 7.4	1 0.4	8 3.3
要介護1・2 (n=240)	5 2.1	3 1.3	2 0.8	4 1.7
要介護3以上 (n=75)	6 8.0	9 12.0	0 0.0	0 0.0

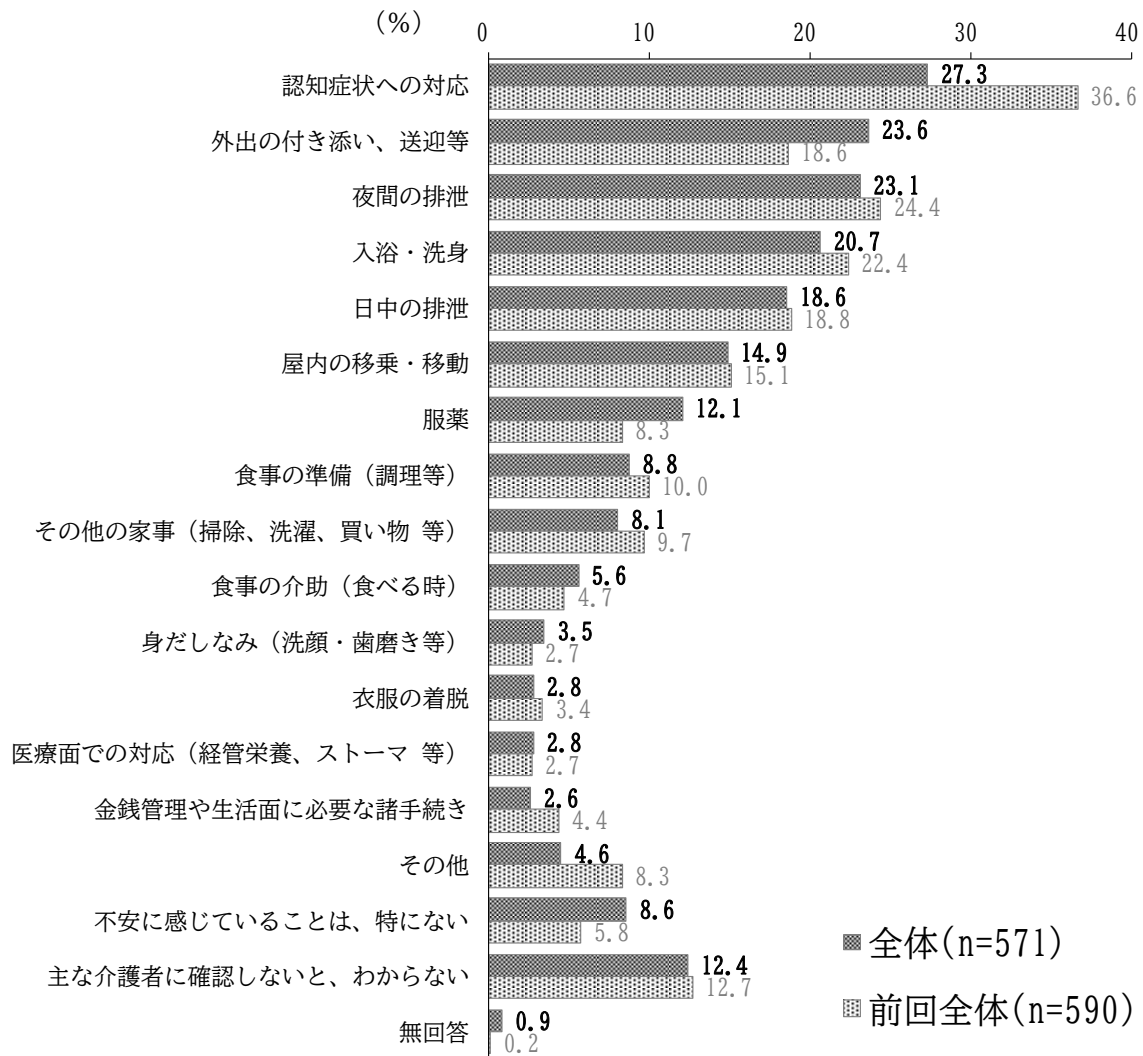
※「全体」降順ソート
 ※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目
 但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目および「その他」については網掛けしていない。
 (本報告書においては、以下同様)

B 票_問5 主な介護者が不安に感じる介護（いくつでも）

A 票問2で「ない」（介護者がいない）以外を回答した方

主な介護者が不安に感じる介護は、「認知症状への対応」が 27.3%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 23.6%、「夜間の排泄」が 23.1%、「入浴・洗身」が 20.7%などとなっています。

A 票_問6の「主な介護者が行っている介護」と比べると、「認知症状への対応」のほか、身体介護を伴う内容に不安を感じている状況がみられます。



※「全体」降順ソート

- 要介護度別にみると、要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」(22.6%)が、要介護1・2では「認知症状への対応」(32.5%)が、要介護3以上では「日中の排泄」(36.0%)が、最も割合が高くなっています。

上段:人 下段:%	認知症状への対応	外出の付き添い、送迎等	夜間の排泄	入浴・洗身	日中の排泄	屋内の移乗・移動	服薬	食事の準備(調理等)	灌漑、買い物等	その他の家事(掃除、洗濯)	食事の介助(食べる時)	身だしなみ(洗顔・歯磨き)	衣服の着脱	医療面での対応(経管栄養)
	全体 (n=571)	156 27.3	135 23.6	132 23.1	118 20.7	106 18.6	85 14.9	69 12.1	50 8.8	46 8.1	32 5.6	20 3.5	16 2.8	16 2.8
前回全体 (n=590)	216 36.6	110 18.6	144 24.4	132 22.4	111 18.8	89 15.1	49 8.3	59 10.0	57 9.7	28 4.7	16 2.7	20 3.4	16 2.7	
要支援1・2 (n=243)	49 20.2	55 22.6	40 16.5	48 19.8	24 9.9	31 12.8	27 11.1	20 8.2	27 11.1	8 3.3	4 1.6	5 2.1	3 1.2	
要介護1・2 (n=240)	78 32.5	58 24.2	64 26.7	54 22.5	54 22.5	39 16.3	35 14.6	26 10.8	19 7.9	18 7.5	11 4.6	10 4.2	8 3.3	
要介護3以上 (n=75)	26 34.7	16 21.3	26 34.7	12 16.0	27 36.0	13 17.3	3 4.0	4 5.3	0 0.0	6 8.0	4 5.3	1 1.3	5 6.7	

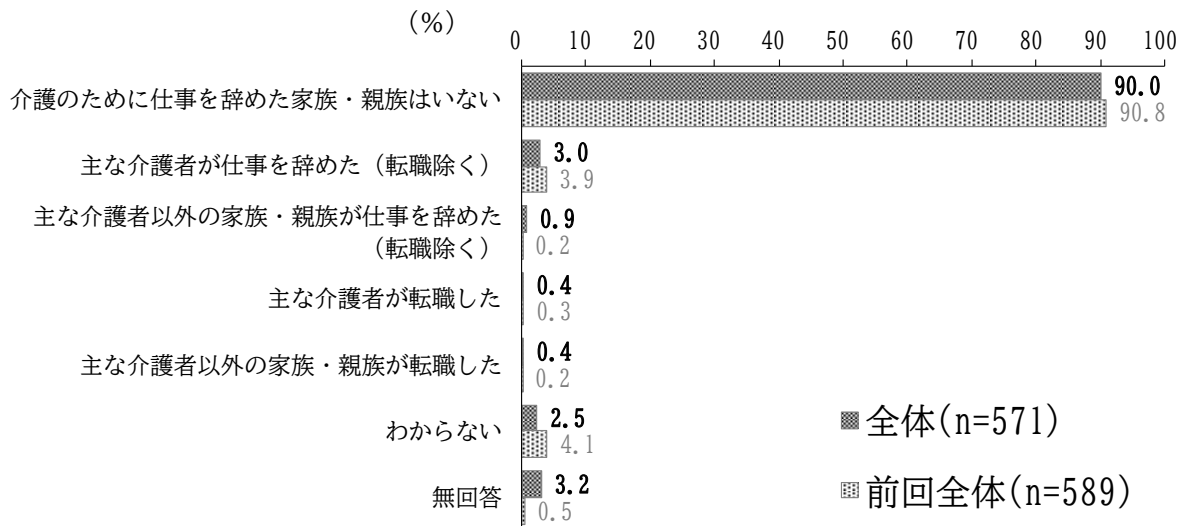
上段:人 下段:%	諸金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	特にな不安に感じていることはない	と主な介護者に確認しない	無回答
	全体 (n=571)	15 2.6	26 4.6	49 8.6	71 12.4
前回全体 (n=590)	26 4.4	49 8.3	34 5.8	75 12.7	1 0.2
要支援1・2 (n=243)	1 0.4	15 6.2	26 10.7	48 19.8	2 0.8
要介護1・2 (n=240)	11 4.6	9 3.8	17 7.1	14 5.8	1 0.4
要介護3以上 (n=75)	3 4.0	2 2.7	3 4.0	8 10.7	2 2.7

※「全体」降順ソート

A票_問7 介護のための離職の有無（いくつでも）

A票問2で「ない」（介護者がいない）以外を回答した方

過去1年間の介護者の離職・転職の状況については、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が3.0%あったほか、「主な介護者が転職した」などを含め、5%程度の介護者が介護離職をしている状況がみられます。



※「全体」降順ソート

- 要介護度別にみると、要介護1・2、要介護3以上の層で介護離職の割合が高くなっています。

上段：人 下段：%	家族介護のためには仕事を辞めた	（転職除く）主な介護者が仕事を辞めた	（転職除く）主な介護者以外（家族・親族）が仕事を辞めた	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	わからない	無回答
	全体 (n=571)	514 90.0	17 3.0	5 0.9	2 0.4	2 0.4	14 2.5
前回全体 (n=589)	535 90.8	23 3.9	1 0.2	2 0.3	1 0.2	24 4.1	3 0.5
要支援1・2 (n=243)	223 91.8	3 1.2	1 0.4	1 0.4	1 0.4	5 2.1	9 3.7
要介護1・2 (n=240)	218 90.8	11 4.6	2 0.8	0 0.0	0 0.0	2 0.8	8 3.3
要介護3以上 (n=75)	60 80.0	3 4.0	2 2.7	1 1.3	1 1.3	7 9.3	1 1.3

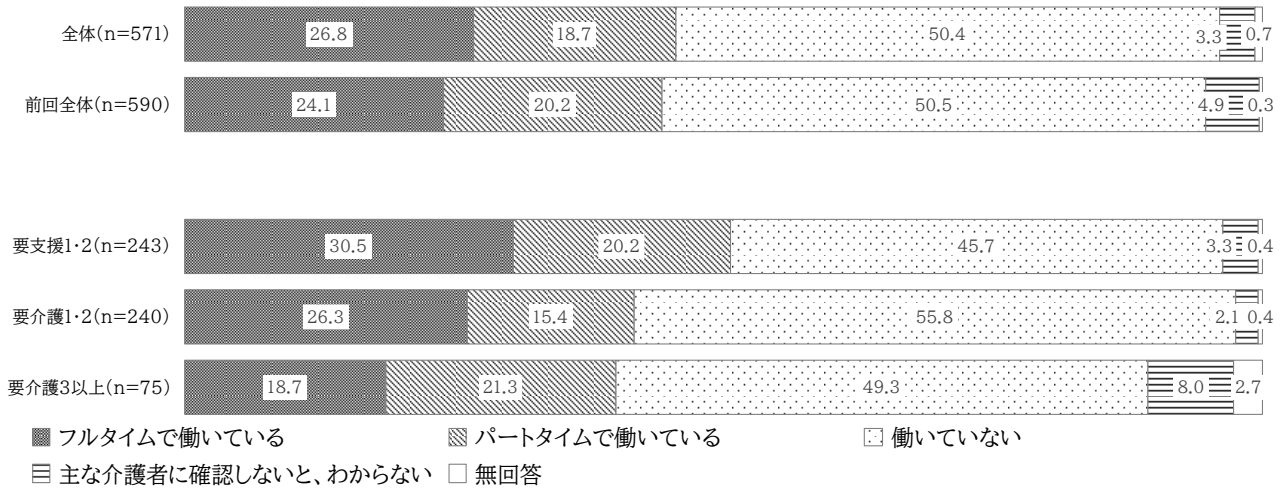
※「全体」降順ソート

B 票_問1 主な介護者の勤務形態

A 票問2で「ない」(介護者がいない)以外を回答した方

介護者の方の勤務形態は、「働いていない」が50.4%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が26.8%、「パートタイムで働いている」が18.7%となっています。

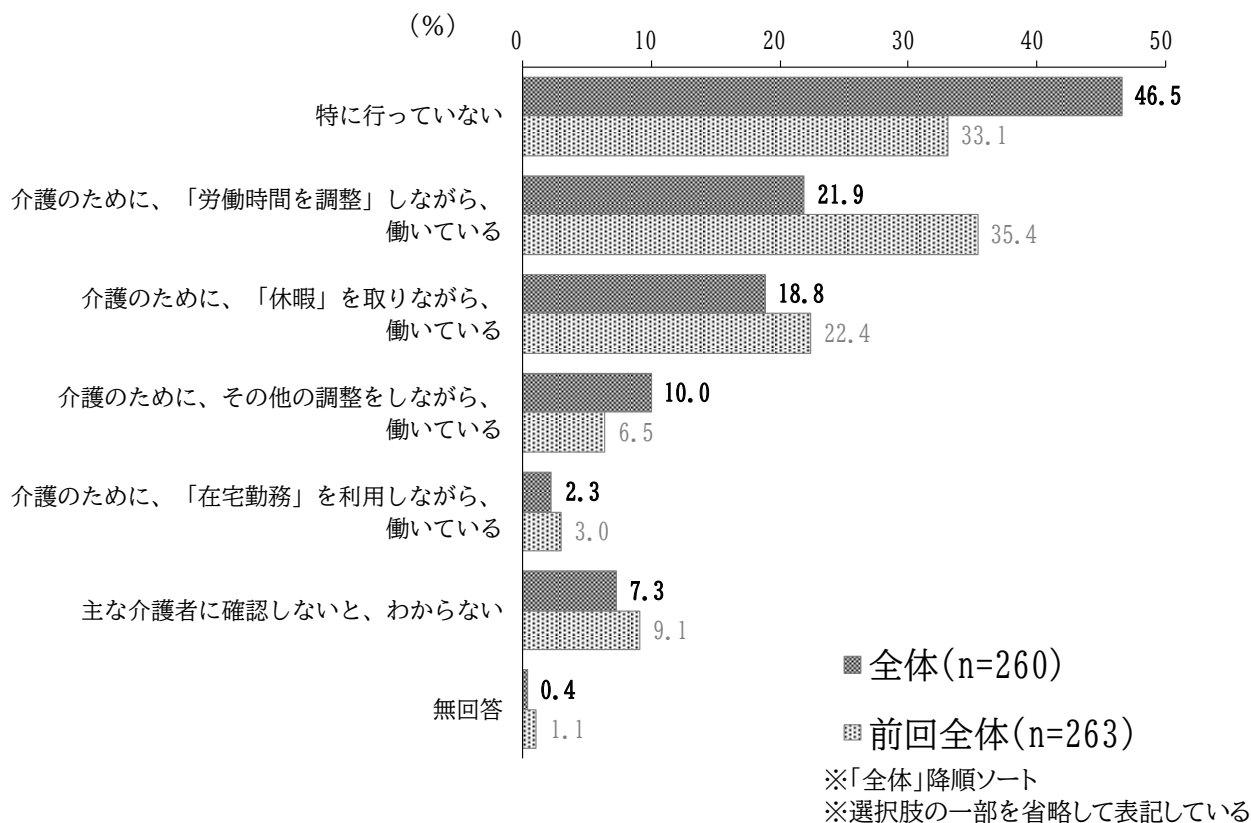
- ・ 要介護度別にみると、要介護度が高くなるに従い就業割合は低くなっていますが、本人が要介護3以上の高齢者の介護者であっても、4割程度が就業しています。



B 票_問2 主な介護者の働き方の調整の状況（いくつでも）

B 票問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方

介護者の介護にあたっての働き方の調整については、「労働時間を調整しながら働いている」が21.9%、「休暇を取りながら働いている」が18.8%、「その他の調整をしながら働いている」が10.0%などとなっており、介護のために何らかの調整を行っている割合は5割程度となっています。



- 何らかの調整を行っている割合は、要介護1・2、要介護3以上で高くなっています。

[上段:人 下段:%]	特に行っていない	介護者のために「労働時間」を調整しながら、「労働時間」を調整しながら働いている	介護者のために「休暇」を取りながら働いている	介護者のために、その他の調整をしながら働いている	在宅勤務を利用しながら働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体 (n=260)	121 46.5	57 21.9	49 18.8	6 2.3	26 10.0	19 7.3	1 0.4
前回全体 (n=263)	87 33.1	93 35.4	59 22.4	8 3.0	17 6.5	24 9.1	3 1.1
要支援1・2 (n=123)	67 54.5	20 16.3	20 16.3	2 1.6	9 7.3	11 8.9	1 0.8
要介護1・2 (n=100)	38 38.0	27 27.0	21 21.0	3 3.0	12 12.0	6 6.0	0 0.0
要介護3以上 (n=30)	13 43.3	9 30.0	5 16.7	1 3.3	5 16.7	1 3.3	0 0.0

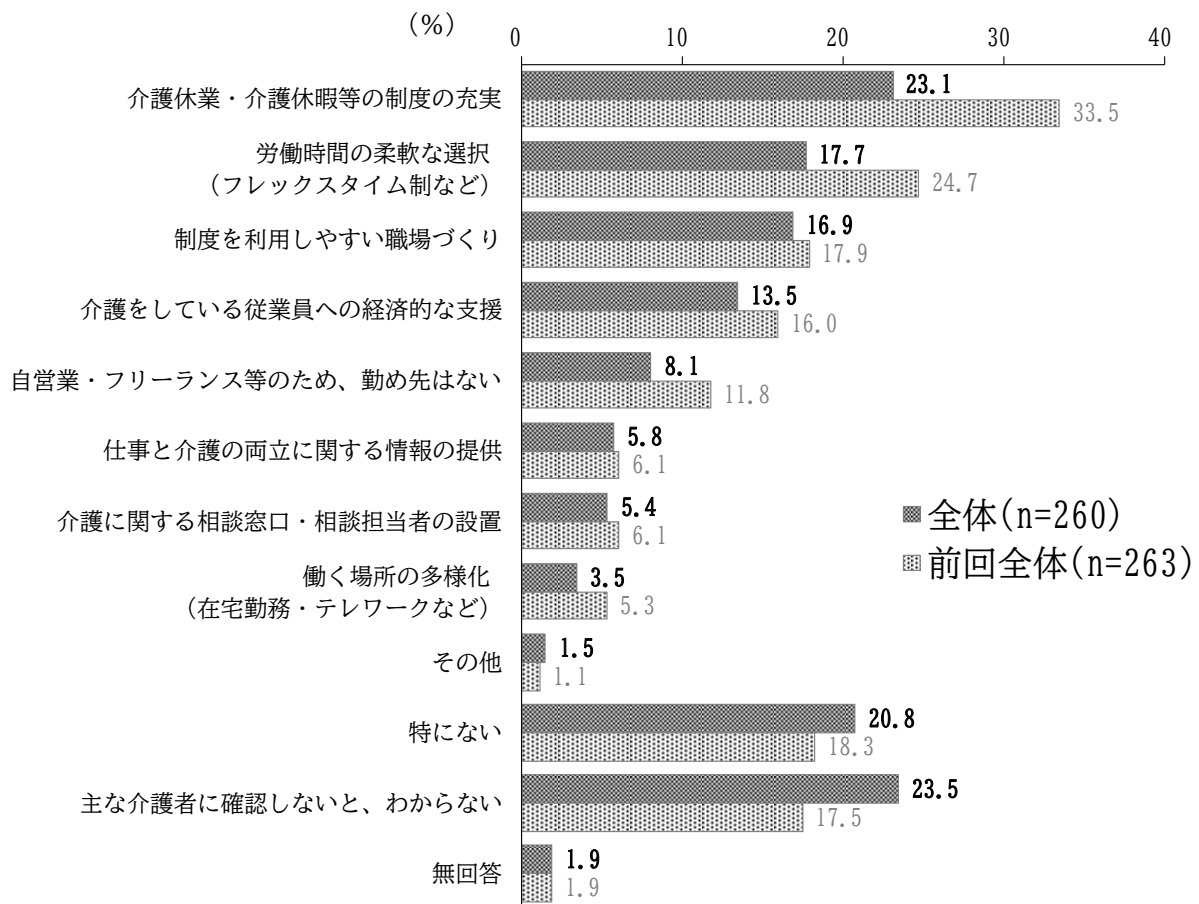
※「全体」降順ソート
 ※選択肢の一部を一部省略して表記している

B票_問3 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援(いくつでも)

B票問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方

仕事と介護の両立に効果があると思う支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が23.1%と最も割合が高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が17.7%、「制度を利用しやすい職場づくり」が16.9%などとなっています。

前回調査と比べて、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が低くなっています。



※「全体」降順ソート

- 要介護度別にみると、要介護1・2及び要介護3以上で全体と比べて「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が高くなっています。

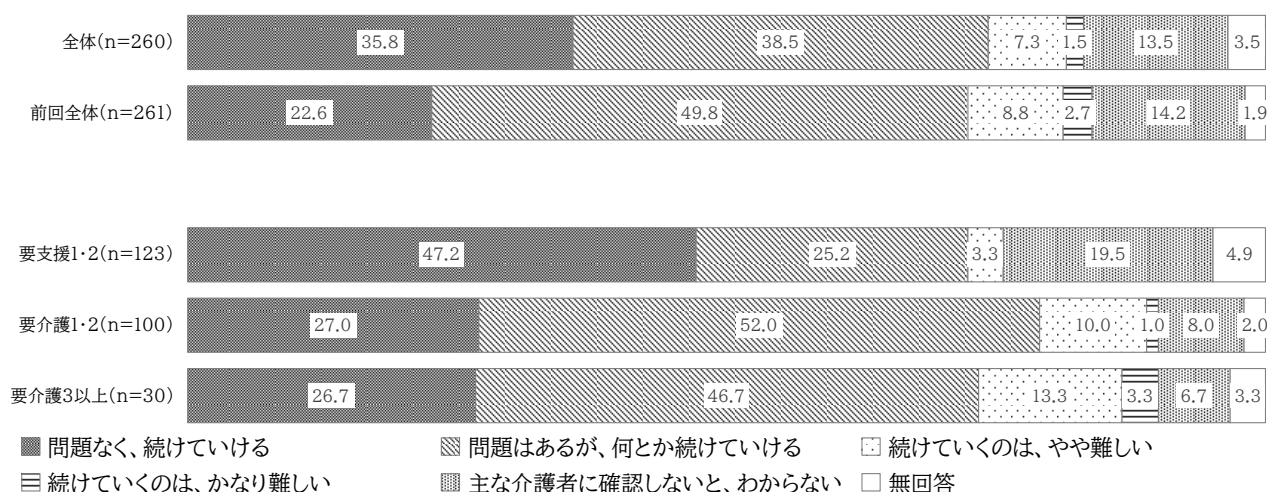
上段:人 下段:%	介護休業・介護休暇等の制度の充実	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	制度を利用しやすい職場づくり	介護的支援	経済的支援	自営業・勤め先はない	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護担当者に関する相談窓口・相談	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	その他	特になし	主な介護者に確認しない	無回答
	全体 (n=260)	60 23.1	46 17.7	44 16.9	35 13.5	21 8.1	15 5.8	14 5.4	9 3.5	4 1.5	54 20.8	61 23.5	5 1.9
前回全体 (n=263)	88 33.5	65 24.7	47 17.9	42 16.0	31 11.8	16 6.1	16 6.1	14 5.3	3 1.1	48 18.3	46 17.5	5 1.9	
要支援1・2 (n=123)	24 19.5	11 8.9	19 15.4	12 9.8	7 5.7	3 2.4	3 2.4	4 3.3	2 1.6	23 18.7	44 35.8	3 2.4	
要介護1・2 (n=100)	27 27.0	25 25.0	18 18.0	16 16.0	9 9.0	11 11.0	9 9.0	4 4.0	2 2.0	24 24.0	12 12.0	1 1.0	
要介護3以上 (n=30)	8 26.7	7 23.3	4 13.3	5 16.7	4 13.3	1 3.3	2 6.7	1 3.3	0 0.0	6 20.0	4 13.3	1 3.3	

※「全体」降順ソート

B 票 問4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

B 票問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方

主な介護者が今後も働きながら介護を続けていけそうかについてたずねたところ、「続けていくのは、かなり難しい」は1.5%、「続けていくのは、やや難しい」は7.3%となっています。

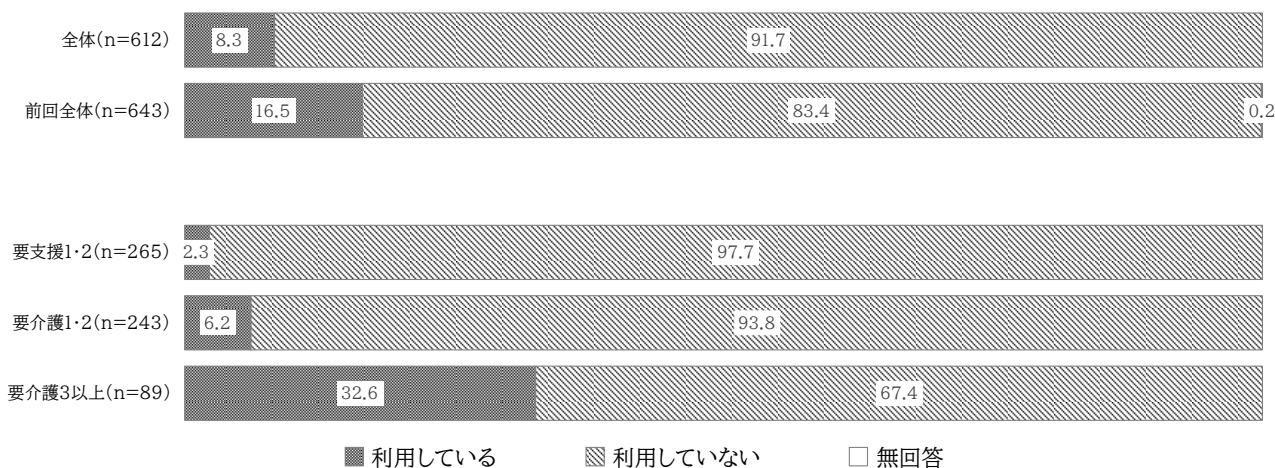


3 サービスの利用状況

A票_問14 訪問診療の利用の有無

訪問診療の利用状況は、「利用している」が8.3%、「利用していない」が91.7%となっています。

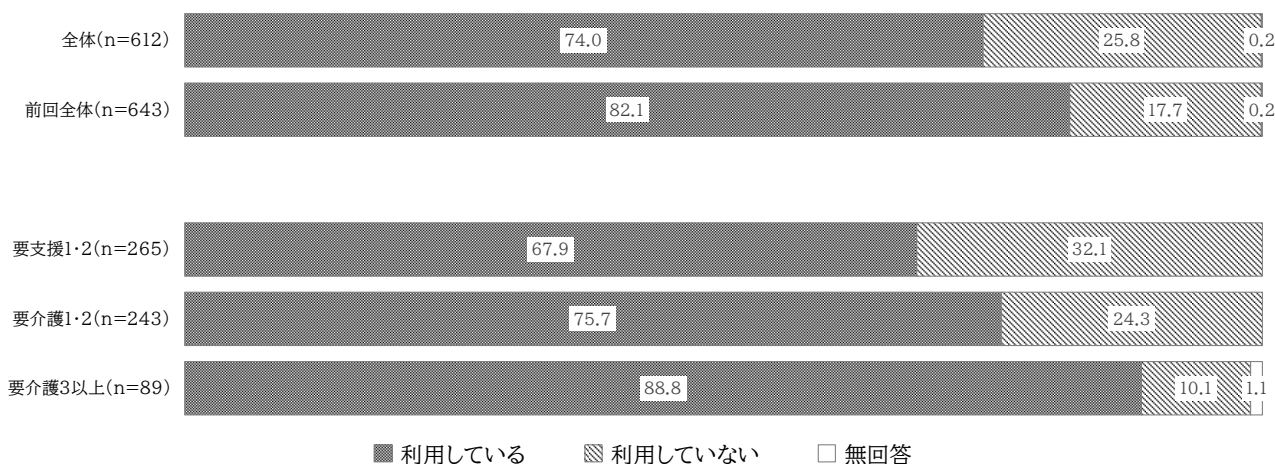
- ・ 要介護3以上では「利用している」は32.6%と3割を超えています。



A票_問15 介護保険サービスの利用の有無

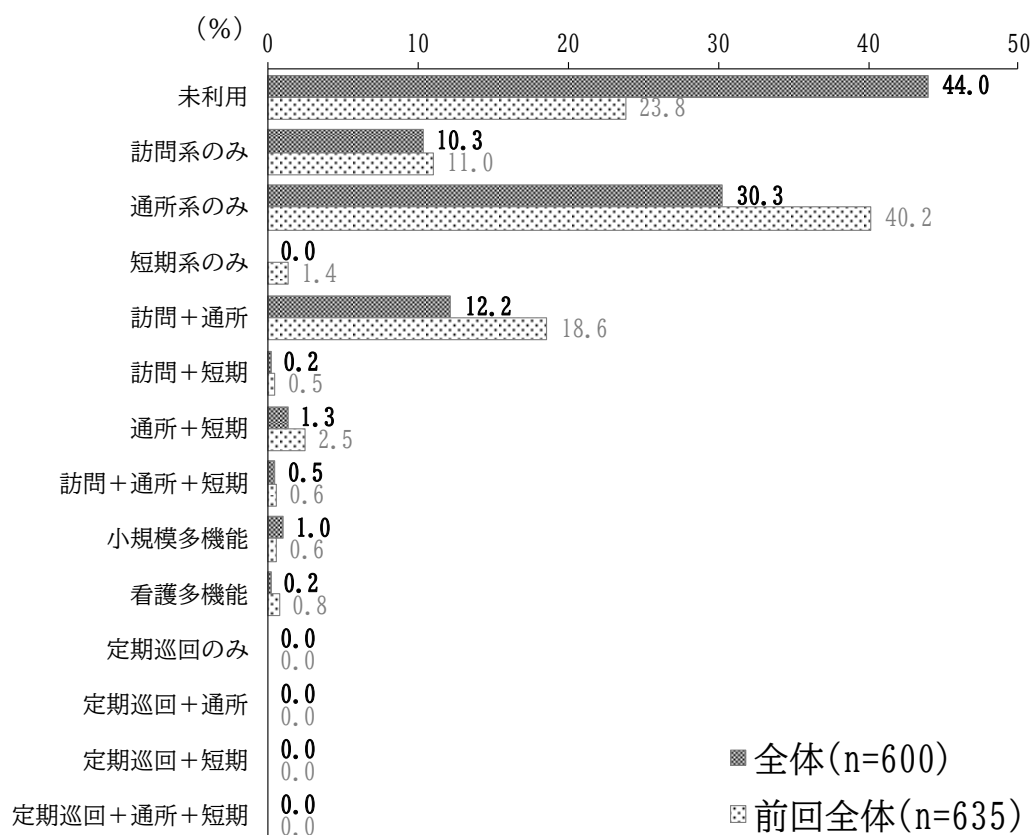
住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が74.0%、「利用していない」が25.8%となっています。

- ・ 要介護度別にみると、要介護度が高くなるに従い「利用している」が高くなり、要介護3以上では88.8%となっています。



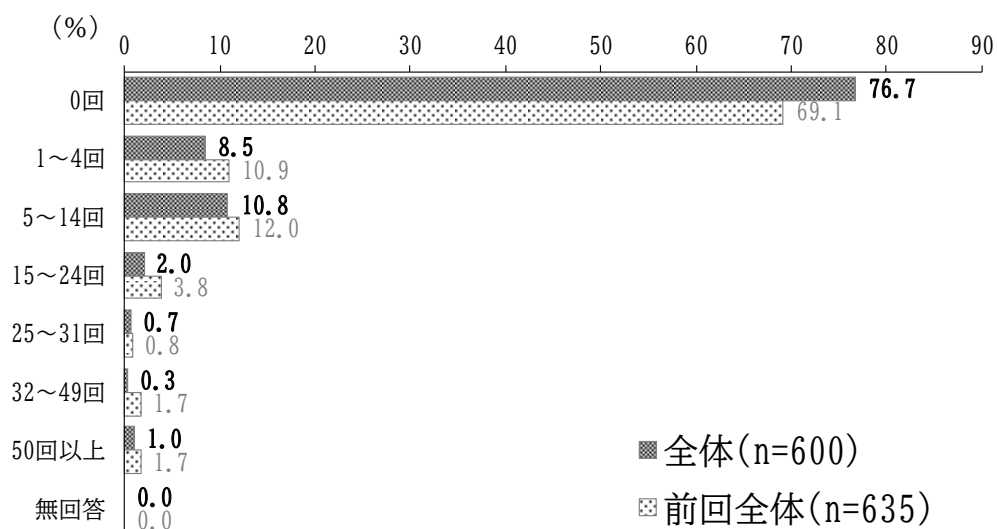
■ 介護保険サービスの利用の組み合わせ

要介護認定データとの突合により、サービスの利用状況をみたところ、「通所系のみ」が30.3%、「訪問+通所」が12.2%、「未利用」が44.0%などとなっています。



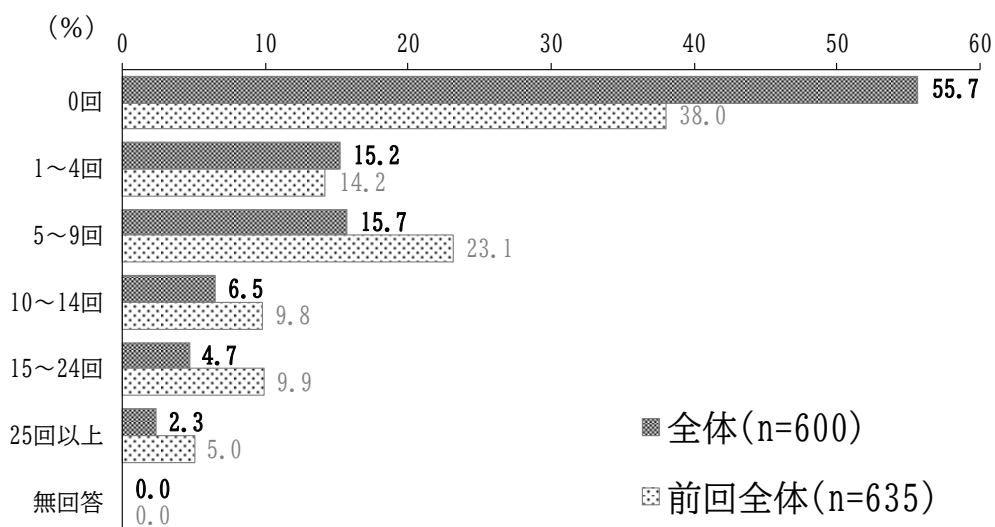
■ 訪問系サービスの月あたり合計利用回数

要介護認定データとの突合により、訪問系サービスの利用回数をみたところ、「1~4回」が8.5%、「5~14回」が10.8%などとなっており、利用率は3割程度です。



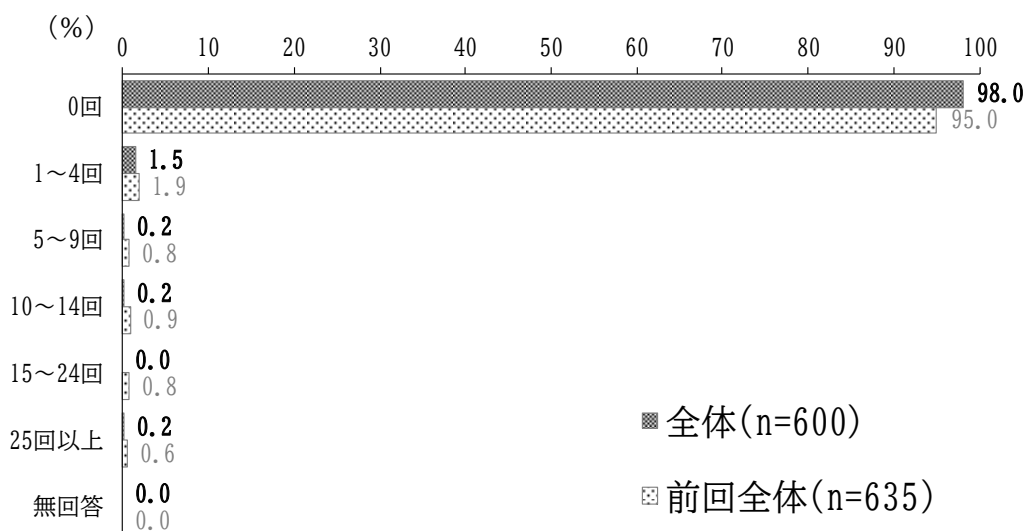
■ 通所系サービスの月あたり合計利用回数

要介護認定データとの突合により、通所系サービスの利用回数をみたところ、「1～4回」が15.2%、「5～9回」が15.7%などとなっており、利用率は4割強です。



■ 短期系サービスの月あたり合計利用回数（日数）

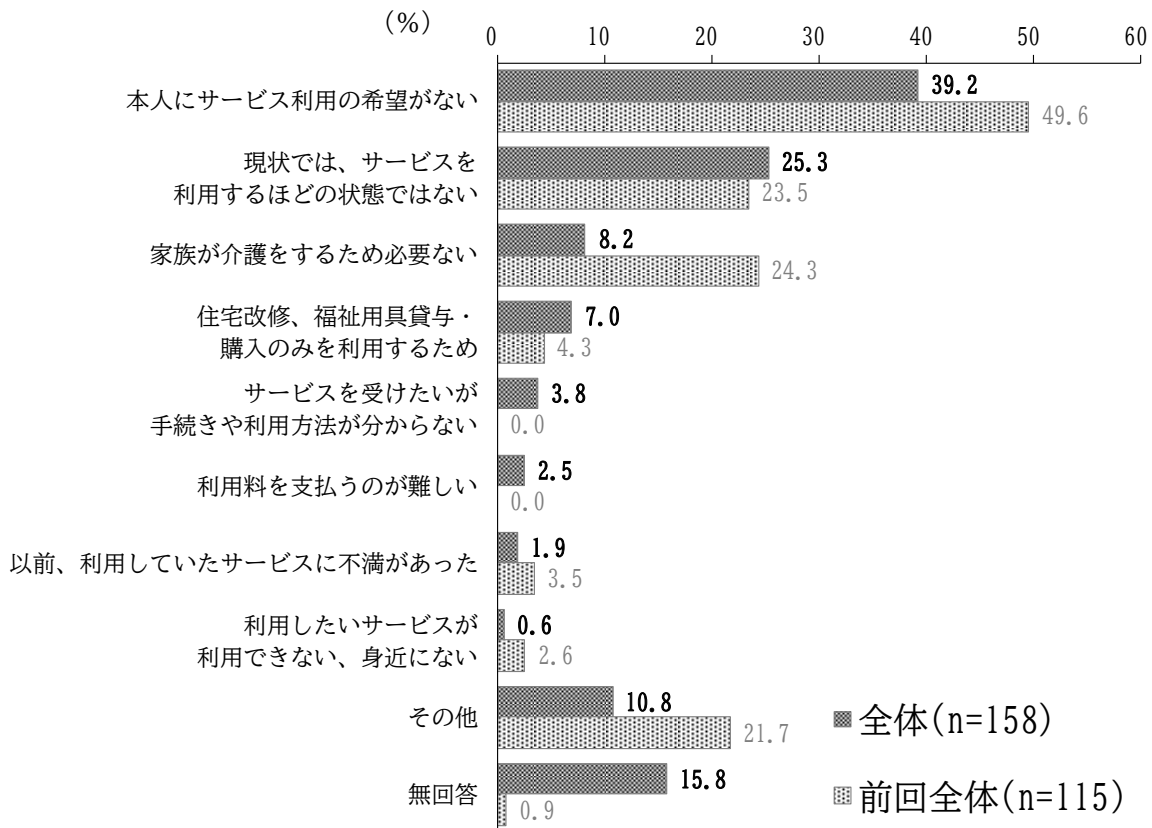
要介護認定データとの突合により、短期系サービスの利用回数をみたところ、「1～4回（日）」が1.5%、「5～9回（日）」が0.2%などとなっており、利用率は数%程度と低い状況です。



A票_問16 介護保険サービス未利用の理由（いくつでも）

A票問15で「利用していない」を回答した方

介護保険サービスを利用していない理由は、「本人にサービス利用の希望がない」が39.2%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が25.3%、「家族が介護をするため必要ない」が8.2%などとなっています。



※「全体」降順ソート

- 要介護3以上の未利用者は9人と少数ですが、未利用の理由として、「本人にサービス利用の希望がない」などが上がっています。

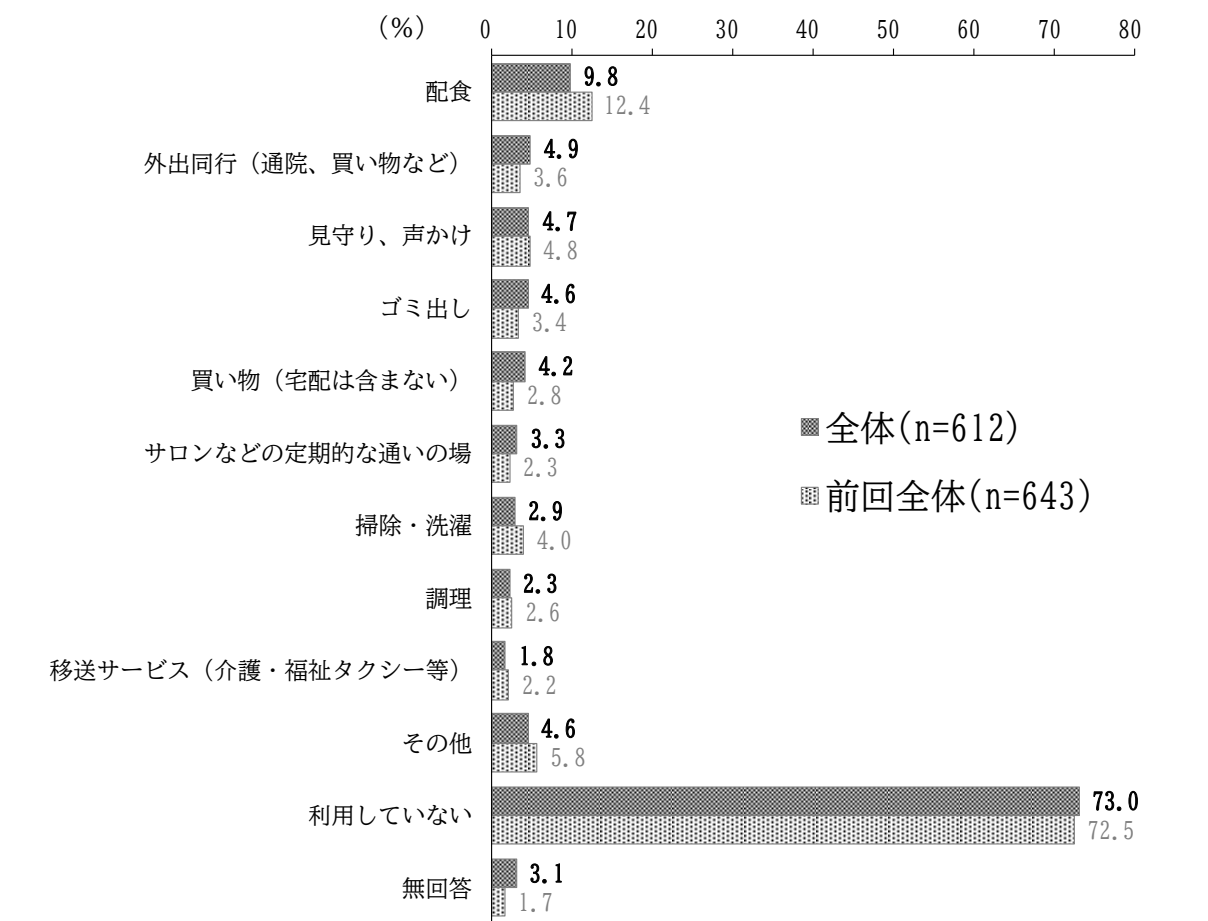
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 上段:人 下段:% </div>	が本人にサービス利用の希望	す現状では、サービスを利用	ない家族が介護をするため必要	購住宅改修、福祉用具貸与・	きサービスを受けたいが手続き	利用料を支払うのが難しい	以前、利用していたサービスに不満があった	で利用したいサービスが利用	その他	無回答
	全体 (n=158)	62 39.2	40 25.3	13 8.2	11 7.0	6 3.8	4 2.5	3 1.9	1 0.6	17 10.8
前回全体 (n=115)	57 49.6	27 23.5	28 24.3	5 4.3	0 0.0	0 0.0	4 3.5	3 2.6	25 21.7	1 0.9
要支援1・2 (n=85)	31 36.5	31 36.5	3 3.5	8 9.4	5 5.9	3 3.5	1 1.2	0 0.0	8 9.4	10 11.8
要介護1・2 (n=59)	27 45.8	6 10.2	7 11.9	3 5.1	1 1.7	1 1.7	2 3.4	1 1.7	7 11.9	12 20.3
要介護3以上 (n=9)	4 44.4	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	2 22.2

※「全体」降順ソート

A票_問8 介護保険以外の支援・サービスの利用状況（いくつでも）

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況は、「利用していない」が73.0%を占めます。利用者の中では「配食」が9.8%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（4.9%）、「見守り、声かけ」（4.7%）などとなっています。

令和4年度の前回調査と比べ、「外出同行（通院、買い物など）」、「ゴミ出し」、「買い物（宅配は含まない）」、「サロンなどの定期的な通いの場」で利用率が上昇し、「配食」などで利用率が低下しています。



※「全体」降順ソート

- ・ 要介護度別にみると、「外出同行(通院、買い物など)」、「買い物(宅配は含まない)」、「サロンなどの定期的な通いの場」では要支援1・2の層の利用率が5%を超えており、「配食」は要支援1・2、要介護1・2の層で1割を超えています。

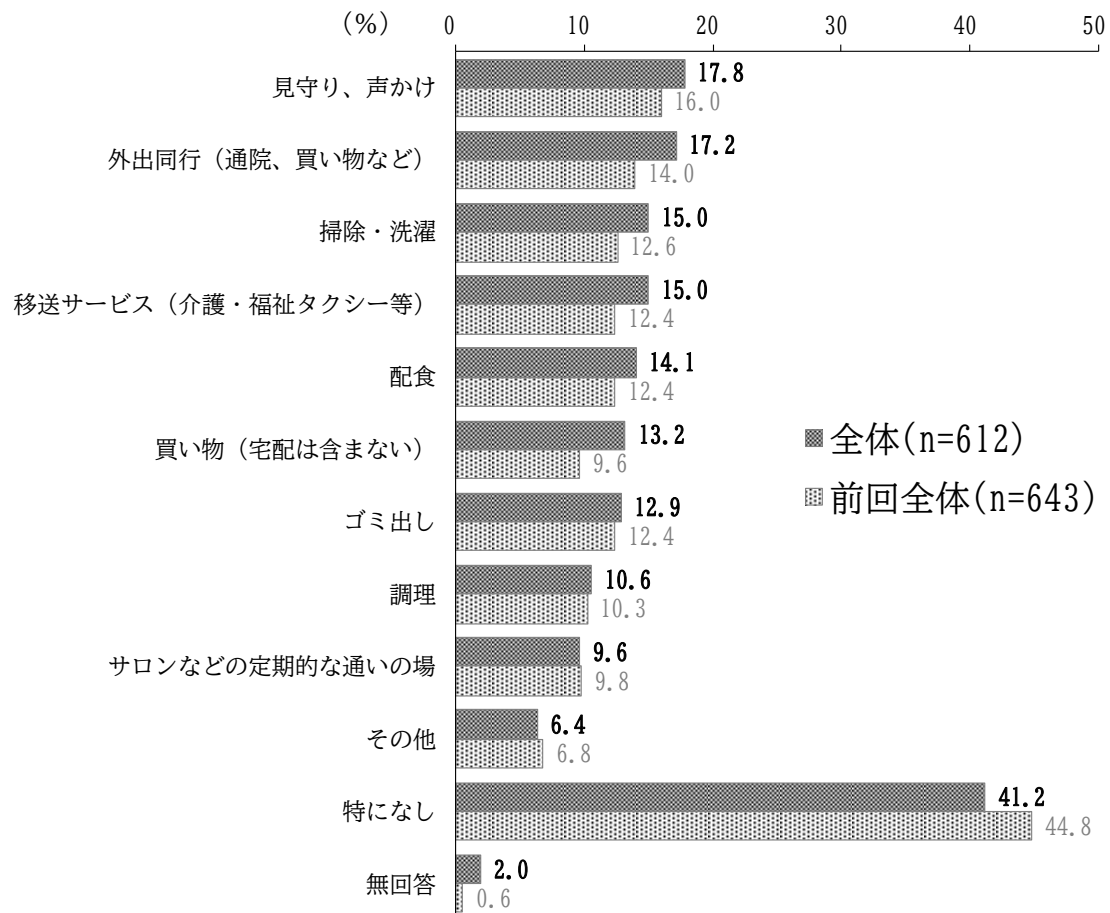
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 上段:人 下段:% </div>	配食	外出同行(通院、買い物など)	見守り、声かけ	ゴミ出し	買い物(宅配は含まない)	サロンの定期的な通い	掃除・洗濯	調理	移送サービス(介護・福祉)	その他	利用していない	無回答
	全体 (n=612)	60 9.8	30 4.9	29 4.7	28 4.6	26 4.2	20 3.3	18 2.9	14 2.3	11 1.8	28 4.6	447 73.0
前回全体 (n=643)	80 12.4	23 3.6	31 4.8	22 3.4	18 2.8	15 2.3	26 4.0	17 2.6	14 2.2	37 5.8	466 72.5	11 1.7
要支援1・2 (n=265)	28 10.6	15 5.7	12 4.5	12 4.5	14 5.3	15 5.7	8 3.0	7 2.6	2 0.8	9 3.4	194 73.2	5 1.9
要介護1・2 (n=243)	28 11.5	12 4.9	12 4.9	12 4.9	9 3.7	4 1.6	7 2.9	5 2.1	6 2.5	13 5.3	172 70.8	7 2.9
要介護3以上 (n=89)	3 3.4	2 2.2	4 4.5	3 3.4	2 2.2	0 0.0	2 2.2	1 1.1	3 3.4	6 6.7	68 76.4	7 7.9

※「全体」降順ソート

A票_問9 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（いくつでも）

在宅生活を継続するために充実を希望する支援やサービスは、「特になし」が41.2%と最も高くなっています。支援やサービスを希望する意見としては「見守り、声かけ」が17.8%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が17.2%、「掃除、洗濯」が15.0%となっています。

前回調査と比べて「特になし」が低くなり、「外出同行（通院、買い物など）」「買い物（宅配は含まない）」をはじめ、多くの支援・サービスで割合が高くなっています。



※「全体」降順ソート

- 要介護度別にみると、いずれの要介護度でも「特になし」が最も高くなっています。要支援1・2の層では「掃除・洗濯」や「ゴミ出し」、「外出同行」、要介護1・2の層では「外出同行」、「見守り・声かけ」、要介護3以上では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」、「見守り・声かけ」でニーズが高い傾向がみられます。

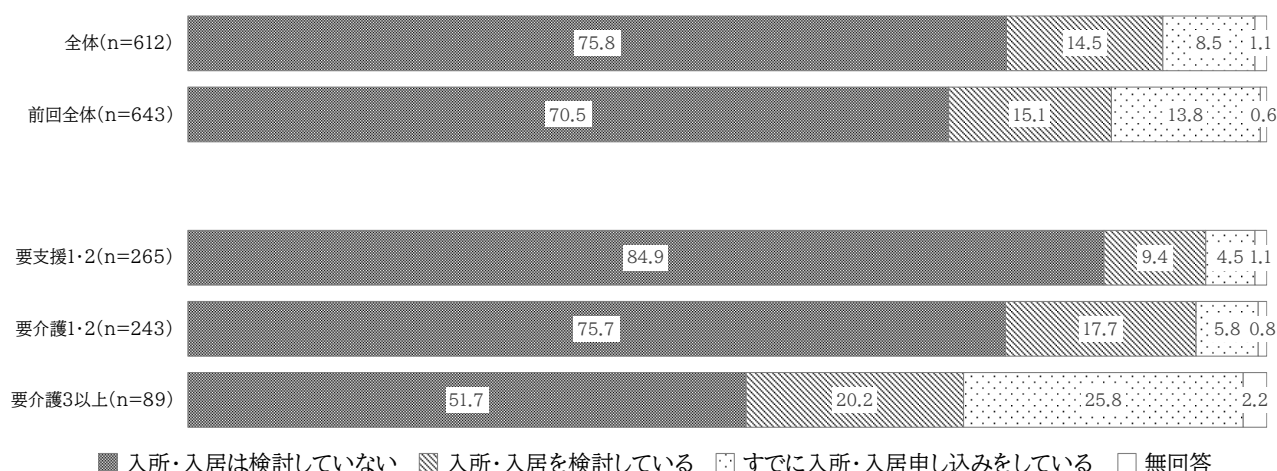
[上段:人 下段:%]	見守り、声かけ	外出同行(通院、買い物など)	掃除・洗濯	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	配食	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	調理	のサロンの定期的な通い	その他	特になし	無回答
全体 (n=612)	109 17.8	105 17.2	92 15.0	92 15.0	86 14.1	81 13.2	79 12.9	65 10.6	59 9.6	39 6.4	252 41.2	12 2.0
前回全体 (n=643)	103 16.0	90 14.0	81 12.6	80 12.4	80 12.4	62 9.6	80 12.4	66 10.3	63 9.8	44 6.8	288 44.8	4 0.6
要支援1・2 (n=265)	41 15.5	44 16.6	46 17.4	30 11.3	36 13.6	35 13.2	45 17.0	29 10.9	32 12.1	15 5.7	104 39.2	4 1.5
要介護1・2 (n=243)	49 20.2	52 21.4	36 14.8	43 17.7	42 17.3	36 14.8	28 11.5	29 11.9	21 8.6	16 6.6	97 39.9	4 1.6
要介護3以上 (n=89)	14 15.7	8 9.0	6 6.7	17 19.1	8 9.0	7 7.9	4 4.5	5 5.6	3 3.4	8 9.0	45 50.6	4 4.5

※「全体」降順ソート

A票_問10 施設等の入所・入居の検討状況

特別養護老人ホーム等への入所・入居の検討状況は、「すでに入所・入居申し込みをしている」が8.5%、「入所・入居を検討している」が14.5%となっています。

- 要介護3では「すでに入所・入居申し込みをしている」が25.8%、「入所・入居を検討している」が20.2%となっています。

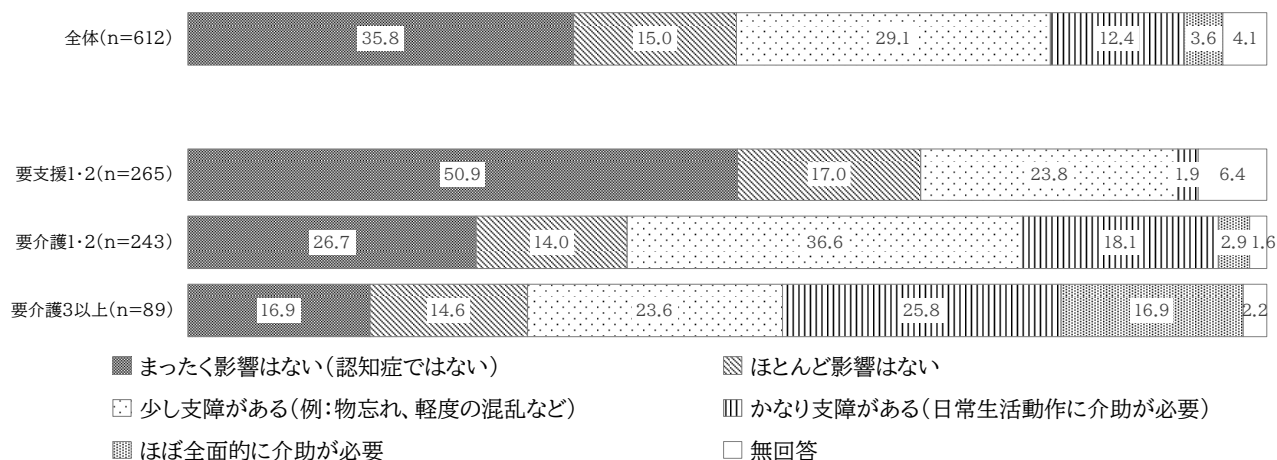


4 認知症についての意識

A票_問11 認知症による日常生活への影響

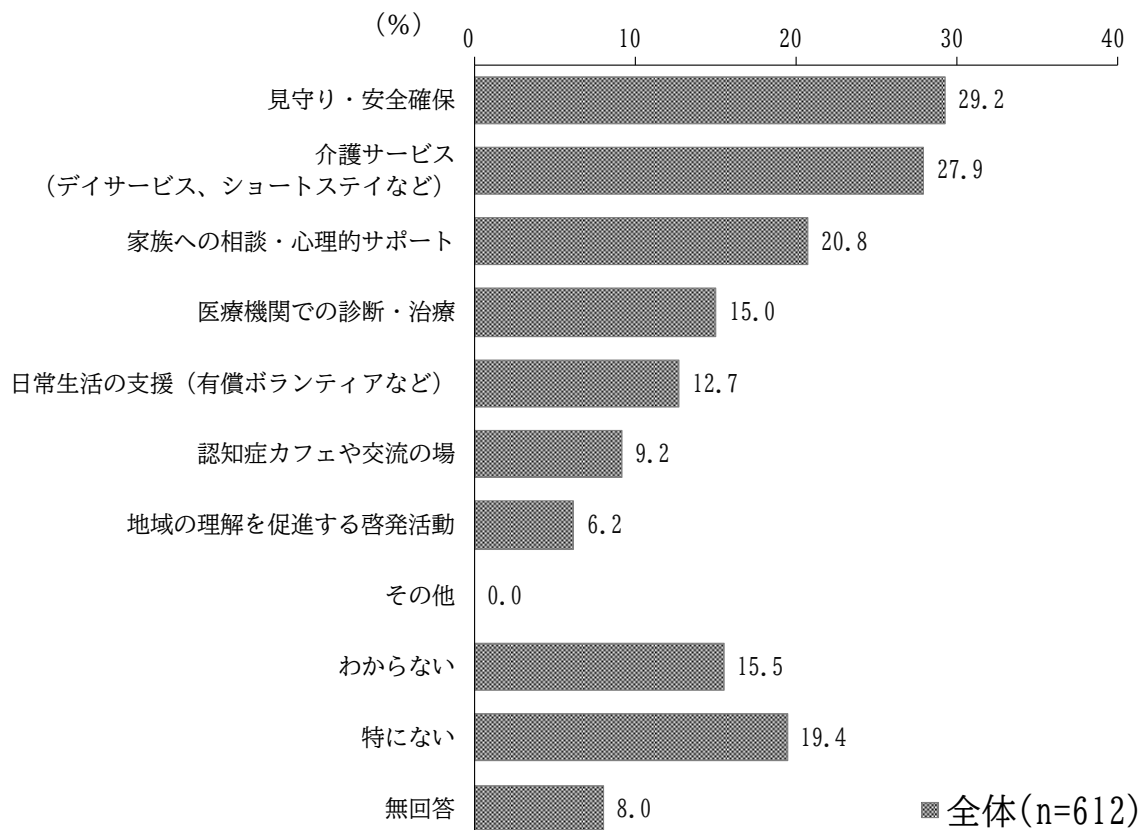
認知症による日常生活への影響は、「ほぼ全面的に介助が必要」が3.6%、「かなり支障がある（日常生活動作に介助が必要）」が12.4%、「少し支障がある（例：物忘れ、軽度の混乱など）」が29.1%、「ほとんど影響はない」が15.0%、「まったく影響はない（認知症ではない）」が35.8%となっています。

- ・ 要介護度別にみると、「ほぼ全面的に介助が必要」は要介護3以上で16.9%、要介護1・2で2.9%となっており、「かなり支障がある（日常生活動作に介助が必要）」は要介護3以上で25.8%、要介護1・2で18.1%となっています。



A票_問12 認知症について地域で充実すべき取組（いくつでも）

認知症について地域で充実が必要と感じる取組は、「見守り・安全確保」が29.2%と最も高く、次いで「介護サービス（デイサービス、ショートステイなど）」が27.9%、「家族への相談・心理的サポート」が20.8%などとなっています。



※「全体」降順ソート

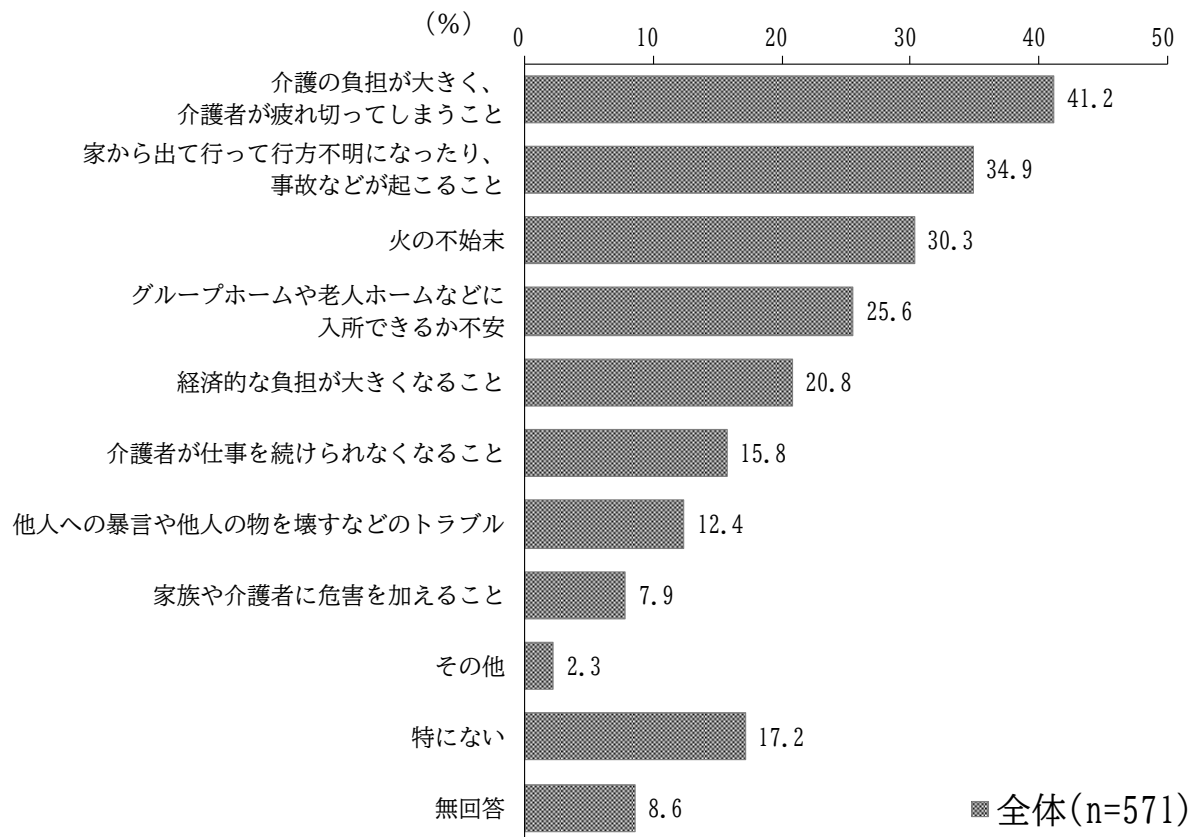
- ・ 要介護度別にみると、「見守り・安全確保」、「介護サービス(デイサービス、ショートステイなど)」、「家族への相談・心理的サポート」などは要介護1・2でほかの層と比べて割合が高くなっています。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 上段:人 下段:% </div>	見守り・安全確保	介護サービス(デイサービス、ショートステイなど)	家族への相談・心理的サポート	医療機関での診断・治療	日常生活の支援(有償ボランティアなど)	認知症カフェや交流の場	地域の理解を促進する啓発活動	その他	わからない	特になし	無回答
	全体 (n=612)	179 29.2	171 27.9	127 20.8	92 15.0	78 12.7	56 9.2	38 6.2	0 0.0	95 15.5	119 19.4
要支援1・2 (n=265)	71 26.8	65 24.5	39 14.7	33 12.5	34 12.8	31 11.7	18 6.8	0 0.0	46 17.4	57 21.5	24 9.1
要介護1・2 (n=243)	87 35.8	78 32.1	67 27.6	45 18.5	34 14.0	22 9.1	13 5.3	0 0.0	32 13.2	42 17.3	16 6.6
要介護3以上 (n=89)	18 20.2	26 29.2	19 21.3	12 13.5	9 10.1	3 3.4	7 7.9	0 0.0	15 16.9	16 18.0	6 6.7

※「全体」降順ソート

B 票_問6 認知症の発症・進行に際しての不安（いくつでも）

要介護者本人の認知症が発症又は進行した場合に不安なことは、「介護の負担が大きく、介護者が疲れ切ってしまうこと」が41.2%と最も高く、次いで「家から出て行って行方不明になったり、事故などが起こること」が34.9%、「火の不始末」が30.3%などとなっています。



※「全体」降順ソート

- 要介護度別にみると、要支援1・2では「火の不始末」(33.7%)が、要介護1・2では「介護の負担が大きく、介護者が疲れ切ってしまうこと」(49.2%)、「家から出て行って行方不明になったり、事故などが起こること」(42.9%)、「介護者が仕事を続けられなくなること」(20.4%)、「家族や介護者に危害を加えること」(11.3%)などが、要介護3以上では「介護の負担が大きく、介護者が疲れ切ってしまうこと」(53.3%)が全体と比べて高くなっています。

上段:人 下段:%	介護の負担が大きく、介護者が疲れ切ってしまうこと	家から出て行って行方不明になったり、事故などが起こること	火の不始末	グループホームや老人ホームなどに入室できないか不安	経済的な負担が大きくなること	介護者が仕事を続けられなくなること	他人への暴言や他人の物を壊すなどのトラブル	家族や介護者に危害を加えること	その他	特になし	無回答
	全体 (n=571)	235 41.2	199 34.9	173 30.3	146 25.6	119 20.8	90 15.8	71 12.4	45 7.9	13 2.3	98 17.2
要支援1・2 (n=243)	75 30.9	77 31.7	82 33.7	59 24.3	49 20.2	25 10.3	26 10.7	14 5.8	8 3.3	47 19.3	28 11.5
要介護1・2 (n=240)	118 49.2	103 42.9	77 32.1	68 28.3	55 22.9	49 20.4	37 15.4	27 11.3	3 1.3	34 14.2	11 4.6
要介護3以上 (n=75)	40 53.3	15 20.0	8 10.7	16 21.3	15 20.0	14 18.7	7 9.3	4 5.3	1 1.3	16 21.3	7 9.3

※「全体」降順ソート

Ⅲ 調査票



Ⅲ 調査票

第 10 期 大分市 在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号(_____)

【A 票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 | |

A 票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- | | | |
|----------------------------|-----------|-----------|
| 1. ない | } 問8(裏面)へ | |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | | |
| 3. 週に1～2日ある | | } 問3～問13へ |
| 4. 週に3～4日ある | | |
| 5. ほぼ毎日ある | | |

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 利用していない | |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 11 認知症による症状や行動で、日常生活にどの程度影響がありますか(1つを選択)

1. まったく影響はない(認知症ではない)
2. ほとんど影響はない
3. 少し支障がある(例:物忘れ、軽度の混乱など)
4. かなり支障がある(日常生活動作に介助が必要)
5. ほぼ全面的に介助が必要

(※認知症に関することを聞きづらい場合は、無理に回答を引き出さなくても結構です)

問 12 認知症について、地域でどんな取組が充実すべきと感じますか(複数選択可)

1. 医療機関での診断・治療
2. 日常生活の支援(有償ボランティアなど)
3. 見守り・安全確保
4. 家族への相談・心理的サポート
5. 認知症カフェや交流の場
6. 介護サービス(デイサービス、ショートステイなど)
7. 地域の理解を促進する啓発活動
8. その他
9. わからない
10. 特になし

問 13 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他 |
| 15. なし | 16. わからない |

問 14 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 15 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない

● 問 15 で「2.」を回答した場合は、問 16 も調査してください。

問 16 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

- 問2で「2. 」～「5. 」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。
- 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問5へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけますか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

【身体介護】

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、スーマ 等) | |

【生活援助】

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

【その他】

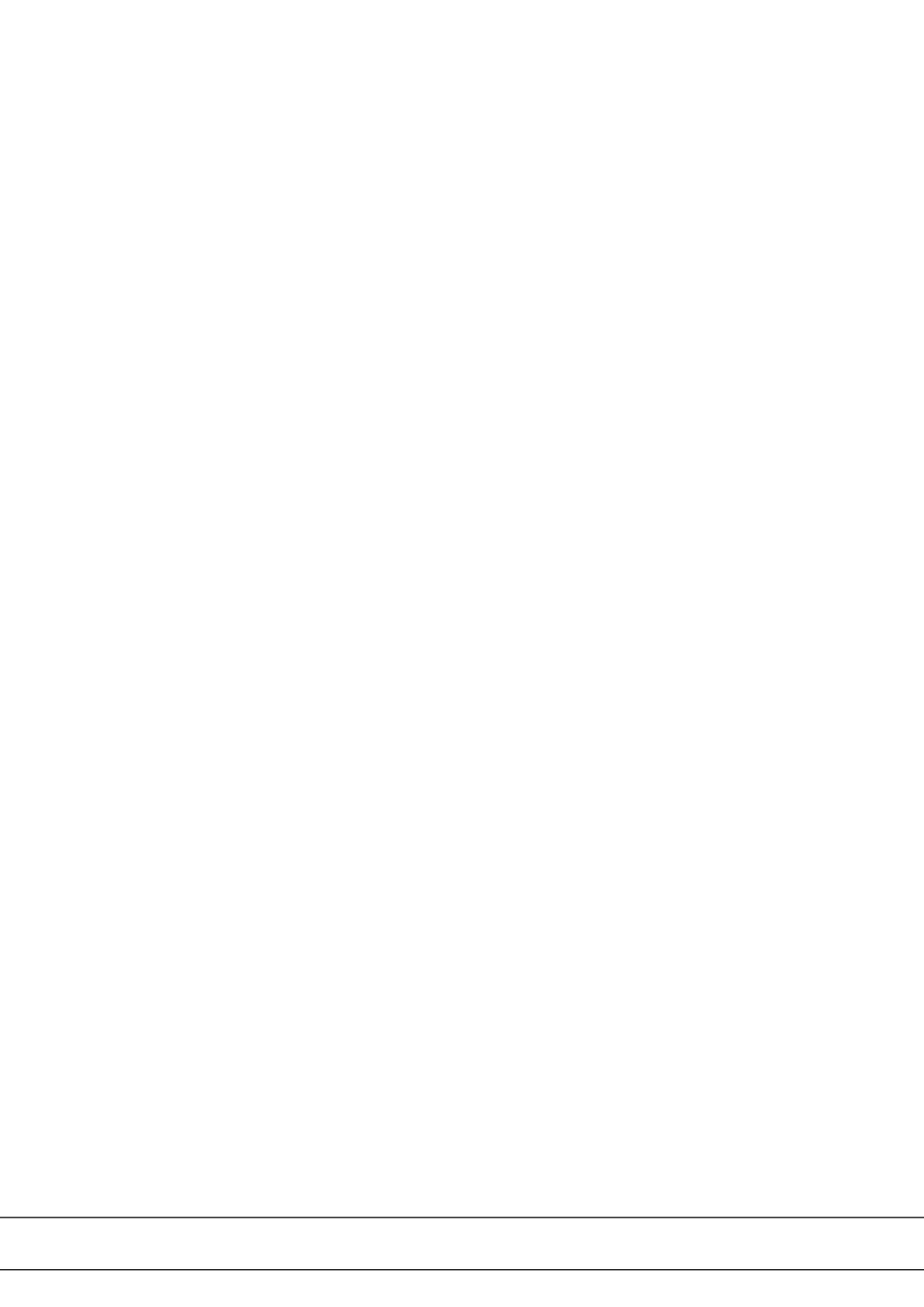
- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問6 本人の認知症が発症、または進行した場合、どのようなことが特に不安ですか(複数選択可)

1. 家から出て行って行方不明になったり、事故などが起こること
2. 火の不始末
3. 他人への暴言や他人の物を壊すなどのトラブル
4. 家族や介護者に危害を加えること
5. 介護の負担が大きく、介護者が疲れ切ってしまうこと
6. 介護者が仕事を続けられなくなること
7. 経済的な負担が大きくなること
8. グループホームや老人ホームなどに入所できるか不安
9. その他
10. 特にない

(※認知症に関することを聞きづらい場合は、無理に回答を引き出さなくても結構です)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



令和 7 年度 大分市在宅介護実態調査 報告書

令和 8 年 3 月

発行：大分市福祉保健部長寿福祉課

〒870-8504 大分市荷揚町 2 番 31 号